

【案】

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年度 国際事業の活動記録

横浜市国際局

INTERNATIONAL AFFAIRS BUREAU
CITY OF YOKOHAMA

国際事業の活動記録 (Yokohama International Digest) の発行にあたって

世界的に都市への集住が進み、世界の多くの都市は持続可能な都市インフラの整備、災害対策、温暖化対策といった都市化に伴う共通の課題を抱えています。また、本市の子育て支援をはじめとした女性活躍促進に向けた取組が評価され、APECにおいて継続的に発信してきたように、国際社会において、都市の発言力や実行力に対する期待が高まっています。

こうした中、国境を越えて、海外諸都市との連携や国際機関との協力を深め、互いに価値を高め合い、政策課題の解決に向かう自治体外交の重要性が増しています。

市内では、在住外国人の増加・定住化に伴い、教育や就労、医療・福祉、防災などに対するニーズが増大しているほか、ラグビーワールドカップ 2019™決勝戦、また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの際にはサッカー競技等の開催が予定されており、この機を生かして、多文化共生のまちづくりをより一層推進していくことが求められています。

平成 27 年度に発足した国際局は、市民、企業や関係機関の皆様とともに、「世界とともに成長する横浜」の実現に向けて様々な国際事業に取り組んでいます。こうした取組の内容を、市民の皆様をはじめ関係者に分かりやすくお伝えするため、本記録集を作成しました。

本活動記録は、平成 28 年 7 月以降、約 40 回にわたり Web サイトに掲載してきた Yokohama International Digest をとりまとめ、合わせて、4 月から 6 月の活動記録についてもまとめたものです。

この活動記録が、横浜市の国際事業を知るきっかけとなれば幸いです。一層のご理解と御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

横浜市国際局

記事一覧

タイトル	発行日	頁
➤ チュニジア共和国特命全権大使が来浜しました	4月-①	1
➤ エストニア共和国首相が横浜市を訪問しました	4月-①	1
➤ サンディエゴ横浜姉妹都市協会の皆さんが来浜しました	4月-①	1
➤ ハンブルクから、桜の女王が横浜を訪問しました	4月-①	1
➤ 横浜日独協会主催でユースフォーラム横浜が開催されました	4月-②	2
➤ ドイツ文化センターオープニングセレモニーが開催されました	4月-②	2
➤ デンマーク大使が林市長と面会しました	4月-②	2
➤ トーゴ文化フェスティバルが開催されました	4月-②	2
➤ 林市長がフランクフルトを訪問しました	5月-①	3
➤ マレーシア・セベランプライ市から研修生をお迎えします	5月-①	3
➤ タブレット端末によるテレビ電話通訳サービスをモデル実施	5月-②	4
➤ 世界銀行から視察団を受け入れました	5月-②	4
➤ 駐日ボツワナ共和国大使館と都筑区が共同発表しました	5月-②	4
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第15回）	5月-③	5
➤ 上海市交通委員会が本市を訪問しました	5月-③	5
➤ 韓国・仁川広域市の職員が本市を訪問	5月-③	5
➤ 3つの銀行と国際事業に関する連携協定を締結しました	6月-①	6
➤ パートナー都市・台北市との交流促進	6月-①	6
➤ アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター卒業式が行われました	6月-①	6
➤ 林市長がケニア大使と面会しました	6月-②	7
➤ 大倉山国際学生フォーラム2016が開催されました	6月-②	7
➤ ソウルで開催された国際会議で本市の住宅政策を発表	6月-②	7
➤ 第1回ヨコハマ国際まちづくり推進委員会を開催	6月-③	8
➤ ベナン大使が笠間小学校を訪問しました	6月-③	8
➤ JICA 海外派遣ボランティアが副市長と面会しました	6月-③	8
➤ セルビア共和国の「乳がん対策」に協力	7月8日	9
➤ 市内企業が、環境省 JCM 案件に採択されました	7月8日	9
➤ 林市長が APEC「女性と経済フォーラム」で基調講演	7月8日	9
➤ ISAP2016 が開催されました	7月20日	10
➤ シンガポール政府主催「世界都市サミット」で横浜の取組を発信	7月20日	10
➤ ネパール地震復興支援に関する覚書を締結しました	7月20日	10
➤ フィリピン国セブ都市圏で事業化に向けた調査が行われます	7月26日	11
➤ 横浜市とバタム市で、都市間技術協力を推進	7月26日	11
➤ ADB 主催の会議で横浜市の都市づくりについて発信	7月26日	11
➤ 市内中小企業の事業提案が環境省の JCM 設備補助事業に採択	8月2日	12
➤ 世界を目指す若者応援事業留学前ガイダンスを開催しました	8月2日	12

タイトル	発行日	頁
➤ アフリカのビジネスウーマンが横浜を訪問しました	8月2日	12
➤ インドにおけるプロジェクト推進に向けた意見交換を実施	8月15日	13
➤ 第3回国連人間居住会議準備会合で本市の取組をPR	8月15日	13
➤ 新たに国際交流員をお迎えしました	8月15日	13
➤ セベランプライ市で横浜市 of 専門家派遣による現地業務を実施	8月22日	14
➤ ベトナム国ダナン市の廃棄物課題に公民連携で取り組みます！	8月22日	14
➤ 防災に関する情報提供についてヒアリングを実施しました	8月22日	14
➤ ルーマニアセミナーが開催されました	8月29日	15
➤ フィリピン・イロイロ市でのコミュニティ防災の推進に協力	8月29日	15
➤ 世界を目指す若者応援事業の帰国者懇談会を開催しました	8月29日	15
➤ フィリピンにおける技術協力の推進に向けた協議を実施	9月5日	16
➤ シンガポール幹部候補生視察団が来浜されました	9月5日	16
➤ TICADVIで横浜をアピールするとともに、次回会議誘致を表明	9月5日	16
➤ ABE イニシアティブの研修生が渡辺副市長を表敬しました	9月14日	17
➤ アジア開発銀行（ADB）主催のセミナーで本市の都市づくりや技術協力について発信しました	9月14日	17
➤ アカデミックコンソーシアムで横浜市 of 取組を発信しました	9月14日	17
➤ 台湾・高雄で世界港湾都市フォーラムが開催されました	9月29日	18
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第16回）	9月29日	18
➤ ブルキナファソ大使が市内小学校を訪問しました	9月29日	18
➤ 仁川広域市から視察団が来浜しました	10月6日	19
➤ 汚泥処理施設の建設事業に関する事前調査に参加しました	10月6日	19
➤ 青年海外協力隊の皆さんが渡辺副市長を表敬訪問しました	10月6日	19
➤ イスラエル・テルアビブ市を訪問	10月13日	20
➤ 「シティネット防災クラスターセミナー」が台北市で開催	10月13日	20
➤ ソウル特別市からの派遣職員イム・ハンスクさんをお迎えしました	10月13日	20
➤ 姉妹都市リヨンのジェラルド・コロロン市長が横浜を訪問	10月18日	21
➤ ドイツ・インダストリー4.0（第4次産業革命）セミナーが開催されました	10月18日	21
➤ ルーマニア交流～「オイナ」の体験イベントが開催されました	10月18日	21
➤ ダナン市の行政機関とキックオフミーティングを行いました	10月21日	22
➤ 日中の地下空間に関する交流会が行われました	10月21日	22
➤ よこはま国際フェスタ 2016 が開催されました	10月21日	22
➤ 「ディワリ・イン・ヨコハマ 2016」が開催されました	10月24日	23
➤ アジア開発銀行（ADB）の協議を進めました	10月24日	23
➤ フランスのトゥール市で日仏自治体交流会議が開催されました	10月24日	23
➤ パートナー都市台北市と経済・文化・環境の分野で連携強化	10月31日	24
➤ フランクフルトの高校生が横浜を訪問し学校交流を行いました	10月31日	24
➤ フランクフルトで和太鼓のワークショップが開催されました	10月31日	24
➤ フィリピン共和国・ドゥテルテ大統領の歓迎昼食会を開催	11月4日	25

タイトル	発行日	頁
➤ BIFZA の高官が来浜。国際局長を表敬訪問しました	11月4日	25
➤ 中国経済セミナーが開催されました	11月4日	25
➤ 仁川広域市公務員合唱団が市庁舎にて公演、副市長を表敬訪問	11月9日	26
➤ フランクフルトにて記念式典が開催されました	11月9日	26
➤ JCM 都市間連携ワークショップが開催されました	11月9日	26
➤ ネパール地震復興支援第三次派遣を行いました	11月15日	27
➤ ダナン市での廃棄物分別処理事業について現地調査を実施しました	11月15日	27
➤ バンコク都と技術協力に関する覚書更新について協議しました	11月15日	27
➤ 孫文生誕 150 周年記念写真展が開催されました	11月17日	28
➤ 横浜市と JICA 包括連携協定を更新しました	11月17日	28
➤ 外務省メルマガ「グローバル通信」にチーム横浜が紹介されました	11月17日	28
➤ フィリピン女性企業家の方々が市長と面会しました	11月25日	29
➤ アフガニスタン国・カブール市長代理 平原副市長と面会	11月25日	29
➤ 女性の活躍推進に取り組む弁護士、ケニアより来浜	11月25日	29
➤ 上海市で開催された WHO 国際会議に副市長が参加しました	11月30日	30
➤ 星槎中学高校にてアフリカ・アジアブリッジが開催されました	11月30日	30
➤ レソト王国国王陛下・王妃陛下が市内小学校を訪問しました	11月30日	30
➤ フランクフルト事務所の紹介（海外事務所特集）	12月5日	31
➤ 上海事務所の紹介（海外事務所特集）	12月5日	31
➤ ムンバイ事務所の紹介（海外事務所特集）	12月5日	31
➤ ネパール・カトマンズ市 CEO が建築局長・国際局長と面会しました	12月19日	32
➤ 第7回アジア太平洋3R推進フォーラムに参加しました	12月19日	32
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第17回）	12月19日	32
➤ 世界銀行との連携（アジア・スマートシティ会議特集）	12月21日	33
➤ アジア・インフラビジネスセミナー（アジア・スマートシティ会議特集）	12月21日	34
➤ 市内インフラ施設の視察（アジア・スマートシティ会議特集）	12月21日	34
➤ 高校生のボランティア参加（アジア・スマートシティ会議特集）	12月21日	34
➤ エチオピア連邦民主共和国アディスアベバ市一行が来浜しました	12月26日	35
➤ 都市間国際協力管理プログラムに国際局職員が参加しました	12月26日	35
➤ フィリピンでシティネット実行委員会に出席しました	12月26日	35
➤ 国際女性会議 WAW！に向けた安倍総理主催夕食会に林市長が出席しました	12月28日	36
➤ 「国際女性会議 WAW！2016」に林市長が登壇しました	12月28日	36
➤ ベトナム女性連合総裁が林市長と面会しました	12月28日	36
➤ 2017 年は姉妹都市提携サンディエゴと 60 周年、コンスタンツァと 40 周年！	1月5日	37
➤ 横浜サンディエゴ友好委員会の懇親会が開催されました	1月5日	37
➤ 「イスラエル・テルアビブのイノベーション」を開催しました	1月5日	37
➤ ブルキナファソナショナルデー記念式典が開催されました	1月16日	38
➤ TICAD フォローアップセミナーを開催しました	1月16日	38

タイトル	発行日	頁
➤ 天皇誕生日祝賀会がリヨンで開催されました	1月16日	38
➤ 駐日ケニア大使が横浜市立大学で講演しました	1月24日	39
➤ 市立金沢小学校で姉妹都市サンディエゴについて出前授業を行いました！	1月24日	39
➤ ベトナム・ハノイ市への下水道技術協力事業の報告を行いました	1月24日	39
➤ ベトナム・ダナン市で都市開発フォーラムを実施しました	1月27日	40
➤ JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書に署名しました	1月27日	40
➤ 大連理工大学横浜研修団が横浜を訪問しました	1月27日	40
➤ 外国人留学生のスピーチコンテストが開催されました	1月31日	41
➤ JCM 案件形成可能性調査の最終ワークショップに出席しました	1月31日	41
➤ 環境省主催のセミナーで横浜市の取組を発信しました	1月31日	41
➤ 林市長が駐日コートジボワール大使と面会しました	2月6日	42
➤ 南アフリカ州議会の議員団が来浜しました	2月6日	42
➤ 日中友好正常化45周年を記念して中国人デザイナーの個展が開催されました	2月6日	42
➤ TICAD 関連セミナーで国際局長がアフリカ事業を紹介しました	2月13日	43
➤ 「お笑いジャーナリスト」と「横浜市的外交官」がアフリカ・トークを展開	2月13日	43
➤ 第9回アジア3R自治体間ネットワーク会合に参加しました	2月13日	43
➤ 駐日ルーマニア大使が林市長と面会しました	2月17日	44
➤ NHK WORLD TV で横浜市国際局の取組が紹介されました	2月17日	44
➤ 日本語教育推進国会議員連盟総会で横浜市の日本語学習支援の取組を紹介しました	2月17日	44
➤ ムンバイ事務所がデリーでの対日投資セミナーに参加しました	2月22日	45
➤ ザンビアの子ども達へ靴を贈ろう！そごう横浜店で、「こども靴贈与式」が行われました	2月22日	45
➤ 市内の聖光学院の皆さんが国際局を訪問しました	2月22日	45
➤ ペルー共和国の第一副大統領が臨港パークの「リマちゃん像」を訪問しました	2月28日	46
➤ インターンシップで来浜した台湾人学生が林市長と面会しました	2月28日	46
➤ メトロセブにてビジネスマッチングセミナーを開催しました	2月28日	46
➤ ベトナム・ダナン港の開発計画調査への協力を実施しました	3月9日	47
➤ 韓国・慶尚南道の皆様が横浜の福祉関連施設を訪問しました	3月9日	47
➤ ロンドンで横浜市国際戦略を紹介しました	3月9日	47
➤ 台中市長が渡辺副市長と面会をしました	3月16日	48
➤ コートジボワール鉄道管理公社総裁が横浜を訪問しました	3月16日	48
➤ 仁川広域市文化芸術課長一行が横浜美術館を視察しました	3月16日	48
➤ インド最大級の観光展にムンバイ事務所長が参加しました	3月22日	49
➤ フィリピン・イロイロ市コミュニティ防災推進事業5年間の成果を報告しました	3月22日	49
➤ デリー・ムンバイ産業大動脈開発会社が市内インフラ施設を視察しました	3月22日	49
➤ 市内小学生が科学探査船タラ号の見学をしました	3月29日	50
➤ バンクーバー新朝日軍と市内少年野球チームが親善試合を行いました	3月29日	50
➤ 世界銀行主催の都市開発に関する国際会議に出席しました	3月29日	50

地域別インデックス

■ 全体（地域区分なし）

平成 28 年度の活動内容	発行日	頁
➤ タブレット端末によるテレビ電話通訳サービスをモデル実施	5月-②	4
➤ 世界銀行から視察団を受け入れました	5月-②	4
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第 15 回）	5月-③	5
➤ 3つの銀行と国際事業に関する連携協定を締結しました	6月-①	6
➤ 第 1 回ヨコハマ国際まちづくり推進委員会を開催	6月-③	8
➤ JICA 海外派遣ボランティアが副市長と面会しました	6月-③	8
➤ ISAP2016 が開催されました	7月 20 日	10
➤ 世界を目指す若者応援事業留学前ガイダンスを開催しました	8月 2 日	12
➤ 第 3 回国連人間居住会議準備会合で本市の取組を P R	8月 15 日	13
➤ 新たに国際交流員をお迎えしました	8月 15 日	13
➤ 防災に関する情報提供についてヒアリングを実施しました	8月 22 日	14
➤ 世界を目指す若者応援事業の帰国者懇談会を開催しました	8月 29 日	15
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第 16 回）	9月 29 日	18
➤ 青年海外協力隊の皆さんが渡辺副市長を表敬訪問しました	10月 6 日	19
➤ よこはま国際フェスタ 2016 が開催されました	10月 21 日	22
➤ 横浜市と JICA 包括連携協定を更新しました	11月 17 日	28
➤ 海外事務所特集号（フランクフルト・上海・ムンバイ）	12月 5 日	31
➤ Y-PORT ワークショップを開催しました（第 17 回）	12月 19 日	32
➤ 国際女性会議 WAW！に向けた安倍総理主催夕食会に林市長が出席しました	12月 28 日	36
➤ 「国際女性会議 WAW！2016」に林市長が登壇しました	12月 28 日	36
➤ 外国人留学生のスピーチコンテストが開催されました	1月 31 日	41
➤ 環境省主催のセミナーで横浜市の取組を発信しました	1月 31 日	41
➤ NHK WORLD TV で横浜市国際局の取組が紹介されました	2月 17 日	44
➤ 日本語教育推進国会議員連盟総会で横浜市の日本語学習支援の取組を紹介しました	2月 17 日	44
➤ 市内の聖光学院の皆さんが国際局を訪問しました	2月 22 日	45
➤ 世界銀行主催の都市開発に関する国際会議に出席しました	3月 29 日	50

全体（地域区分なし）：26 件

■ アジア・大洋州地域

（横浜市国際戦略における考え方）

高い水準で継続的に経済成長を続けており、地理的にも近いアジアは、ビジネスの展開先として市内企

業のニーズが非常に高く、企業誘致や市内企業等の海外展開支援の最重点エリアとして位置づける。また、訪日旅行客も多いことから、誘客促進のメインターゲットとして、市場に即した誘客を進める。

さらに、旺盛なインフラ需要に対して、本市がこれまで積み重ねてきた都市づくりに関するノウハウを生かし、積極的に貢献していくほか、地理的に近く時差も少ないことから、今後更なる学生交流を推進する。

平成 28 年度の活動内容	発行日	頁
➤ マレーシア・セベランプライ市から研修生をお迎えしました	5月-①	3
➤ 上海市交通委員会が本市を訪問しました	5月-③	5
➤ 韓国・仁川広域市の職員が本市を訪問しました	5月-③	5
➤ パートナー都市・台北市との交流を促進しました	6月-①	6
➤ ソウルで開催された国際会議で本市の住宅政策を発表	6月-②	7
➤ 市内企業が、環境省 JCM 案件に採択されました	7月8日	9
➤ シンガポール政府主催「世界都市サミット」で横浜の取組を発信	7月20日	10
➤ ネパール地震復興支援に関する覚書を締結しました	7月20日	10
➤ フィリピン国セブ都市圏で事業化に向けた調査が行われました	7月26日	11
➤ 横浜市とバタム市で、都市間技術協力を推進	7月26日	11
➤ ADB 主催の会議で横浜市の都市づくりについて発信	7月26日	11
➤ 市内中小企業の事業提案が環境省の JCM 設備補助事業に採択	8月2日	12
➤ インドにおけるプロジェクト推進に向けた意見交換を実施	8月15日	13
➤ セベランプライ市で横浜市の専門家派遣による現地業務を実施	8月22日	14
➤ ベトナム国ダナン市の廃棄物課題に公民連携で取り組みます	8月22日	14
➤ フィリピン・イロイロ市でのコミュニティ防災の推進に協力	8月29日	15
➤ フィリピンにおける技術協力の推進に向けた協議を実施	9月5日	16
➤ シンガポール幹部候補生視察団が来浜されました	9月5日	16
➤ アジア開発銀行（ADB）主催のセミナーで本市の都市づくりや技術協力について発信しました	9月14日	17
➤ アカデミックコンソーシアムで横浜市の取組を発信しました	9月14日	17
➤ 台湾・高雄で世界港湾都市フォーラムが開催されました	9月29日	18
➤ 仁川広域市から視察団が来浜しました	10月6日	19
➤ 汚泥処理施設の建設事業に関しての事前調査に参加しました	10月6日	19
➤ 「シティネット防災クラスターセミナー」が台北市で開催	10月13日	20
➤ ソウル特別市からの派遣職員イム・ハンスクさんをお迎えしました	10月13日	20
➤ ダナン市の行政機関とキックオフミーティングを行いました	10月21日	22
➤ 日中の地下空間に関する交流会が行われました	10月21日	22
➤ 「ディワリ・イン・ヨコハマ 2016」が開催されました	10月24日	23
➤ アジア開発銀行（ADB）の協議を進めました	10月24日	23
➤ パートナー都市台北市と経済・文化・環境の分野で連携強化	10月31日	24

➤ フィリピン共和国・ドゥテルテ大統領の歓迎昼食会を開催	11月4日	25
➤ BIFZAの高官が来浜。国際局長を表敬訪問しました	11月4日	25
➤ 中国経済セミナーが開催されました	11月4日	25
➤ 仁川広域市公務員合唱団が市庁舎にて公演、副市長を表敬訪問	11月9日	26
➤ JCM 都市間連携ワークショップが開催されました	11月9日	26
➤ ネパール地震復興支援第三次派遣を行いました	11月15日	27
➤ ダナン市での廃棄物分別処理事業について現地調査を実施しました	11月15日	27
➤ バンコク都と技術協力に関する覚書更新について協議しました	11月15日	27
➤ 孫文生誕 150 周年記念写真展が開催されました	11月17日	28
➤ フィリピン女性企業家の方々が市長と面会しました	11月25日	29
➤ 上海市で開催された WHO 国際会議に副市長が参加しました	11月30日	30
➤ ネパール・カトマンズ市 CEO が建築局長・国際局長と面会しました	12月19日	32
➤ 第7回アジア太平洋3R推進フォーラムに参加しました	12月19日	32
➤ アジア・スマートシティ会議特集号	12月21日	33
➤ 都市間国際協力管理プログラムに国際局職員が参加しました	12月26日	35
➤ フィリピンでシティネット実行委員会に出席しました	12月26日	35
➤ ベトナム女性連合総裁が林市長と面会しました	12月28日	36
➤ ベトナム・ハノイ市への下水道技術協力事業の報告を行いました	1月24日	39
➤ ベトナム・ダナン市で都市開発フォーラムを実施しました	1月27日	40
➤ JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書に署名しました	1月27日	40
➤ 大連理工大学横浜研修団が横浜を訪問しました	1月27日	40
➤ JCM 案件形成可能性調査の最終ワークショップに出席しました	1月31日	41
➤ 日中友好正常化 45 周年を記念して中国人デザイナーの個展が開催されました	2月6日	42
➤ 第9回アジア3R自治体間ネットワーク会合に参加しました	2月13日	43
➤ ムンバイ事務所がデリーでの対日投資セミナーに参加しました	2月22日	45
➤ インターンシップで来浜した台湾人学生が林市長と面会しました	2月28日	46
➤ メトロセブにてビジネスマッチングセミナーを開催しました	2月28日	46
➤ ベトナム・ダナン港の開発計画調査への協力を実施しました	3月9日	47
➤ 韓国・慶尚南道の皆様が横浜の福祉関連施設を訪問しました	3月9日	47
➤ 台中市長が渡辺副市長と面会をしました	3月16日	48
➤ 仁川広域市文化芸術課長一行が横浜美術館を視察しました	3月16日	48
➤ インド最大級の観光展にムンバイ事務所長が参加しました	3月22日	49
➤ フィリピン・イロイロ市コミュニティ防災推進事業 5 年間の成果を報告しました	3月22日	49
➤ デリー・ムンバイ産業大動脈開発会社が市内インフラ施設を視察しました	3月22日	49

アジア・大洋州地域：64 件

■ 欧州・米州地域

(横浜市国際戦略における考え方)

① 欧州・北米地域

社会の高齢化や環境問題など、共通する課題を多く抱えている欧州や北米地域は、環境分野をはじめとした行政課題に関して共に解決策を模索するとともに、情報発信を行う場として活用していく。

また、成長・発展が見込まれる分野の企業誘致を進めるほか、盛んに行われている学生交流等を土台に、今後の交流の促進・進化を図っていく。

② 中南米地域

地理的な距離はあるものの、日系移民の存在など、深いつながりを有している。また、ASEANを超える経済規模があり、ビジネスをはじめ今後の交流の可能性を秘めている地域である。中長期的な視野に立って、幅広く交流の機会を創出していく。

平成 28 年度の活動内容	発行日	頁
➤ エストニア共和国首相が横浜市を訪問しました	4月-①	1
➤ サンディエゴ横浜姉妹都市協会の皆さんが来浜しました	4月-①	1
➤ ハンブルクから、桜の女王が横浜を訪問しました	4月-①	1
➤ 横浜日独協会主催でユースフォーラム横浜が開催されました	4月-②	2
➤ ドイツ文化センターオープニングセレモニーが開催されました	4月-②	2
➤ デンマーク大使が林市長と面会しました	4月-②	2
➤ 林市長がフランクフルトを訪問しました	5月-①	3
➤ アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター卒業式が行われました	6月-①	6
➤ 大倉山国際学生フォーラム 2016 が開催されました	6月-②	7
➤ セルビア共和国の「乳がん対策」に協力	7月8日	9
➤ 林市長が APEC「女性と経済フォーラム」で基調講演	7月8日	9
➤ ルーマニアセミナーが開催されました	8月29日	15
➤ 姉妹都市リヨンのジェラルド・コロン市長が横浜を訪問	10月18日	21
➤ ドイツ・インダストリー4.0（第4次産業革命）セミナーが開催されました	10月18日	21
➤ ルーマニア交流～「オイナ」の体験イベントが開催されました	10月18日	21
➤ フランスのトゥール市で日仏自治体交流会議が開催されました	10月24日	23
➤ フランクフルトの高校生が横浜を訪問し学校交流を行いました	10月31日	24
➤ フランクフルトで和太鼓のワークショップが開催されました	10月31日	24
➤ フランクフルトにて記念式典が開催されました	11月9日	26
➤ 2017年は姉妹都市提携サンディエゴと60周年、コンスタンツァと40周年	1月5日	37
➤ 横浜サンディエゴ友好委員会の懇親会が開催されました	1月5日	37
➤ 天皇誕生日祝賀会がリヨンで開催されました	1月16日	38
➤ 市立金沢小学校で姉妹都市サンディエゴについて出前授業を行いました	1月24日	39
➤ 駐日ルーマニア大使が林市長と面会しました	2月17日	44

➤ ペルー共和国の第一副大統領が臨港パークの「リマちゃん像」を訪問しました	2月28日	46
➤ ロンドンで横浜市国際戦略を紹介しました	3月9日	47
➤ 市内小学生が科学探査船タラ号の見学をしました	3月29日	50
➤ バンクーバー新朝日軍と市内少年野球チームが親善試合を行いました	3月29日	50

欧州・米州地域：28件

■ アフリカ・中東地域

(横浜市国際戦略における考え方)

貧困・紛争等の課題も多いが、高い水準で経済成長を続けているアフリカ・中東は、今後のビジネスの可能性を秘めている地域である。過去2回のTICAD（アフリカ開発会議）の開催実績をもとに、交流の更なる深化と開発課題解決への積極的貢献を図り、市内企業のビジネスにもつなげていく。

平成28年度の活動内容	発行日	頁
➤ チュニジア共和国特命全権大使が来浜しました	4月-①	1
➤ トーゴ文化フェスティバルが開催されました	4月-②	2
➤ 駐日ボツワナ共和国大使館と都筑区が共同発表しました	5月-②	4
➤ 林市長がケニア大使と面会しました	6月-②	7
➤ ベナン大使が笠間小学校を訪問しました	6月-③	8
➤ アフリカのビジネスウーマンが横浜を訪問しました	8月2日	12
➤ TICAD VIで横浜をアピールするとともに、次回会議誘致を表明	9月5日	16
➤ ABE イニシアティブの研修生が渡辺副市長を表敬しました	9月14日	17
➤ ブルキナファソ大使が市内小学校を訪問しました	9月29日	18
➤ イスラエル・テルアビブ市を訪問	10月13日	20
➤ 外務省メルマガ「グローバル通信」にチーム横浜が紹介されました	11月17日	28
➤ アフガニスタン国・カブール市長代理 平原副市長と面会	11月25日	29
➤ 女性の活躍推進に取り組む弁護士、ケニアより来浜	11月25日	29
➤ 星槎中学高校にてアフリカ・アジアブリッジが開催されました	11月30日	30
➤ レソト王国国王陛下・国王妃陛下が市内小学校を訪問しました	11月30日	30
➤ エチオピア連邦民主共和国アディスアベバ市一行が来浜しました	12月26日	35
➤ 「イスラエル・テルアビブのイノベーション」を開催しました	1月5日	37
➤ ブルキナファソナショナルデー記念式典が開催されました	1月16日	38
➤ TICAD フォローアップセミナーを開催しました	1月16日	38
➤ 駐日ケニア大使が横浜市立大学で講演しました	1月24日	39
➤ 林市長が駐日コートジボワール大使と面会しました	2月6日	42
➤ 南アフリカ州議会の議員団が来浜しました	2月6日	42

➤ TICAD 関連セミナーで国際局長がアフリカ事業を紹介しました	2月13日	43
➤ 「お笑いジャーナリスト」と「横浜市の外交官」がアフリカ・トークを展開	2月13日	43
➤ ザンビアの子ども達へ靴を贈ろう！そごう横浜店で「こども靴贈与式」が行われました	2月22日	45
➤ コートジボワール鉄道管理公社総裁が横浜を訪問しました	3月16日	48

アフリカ・中東地域：26件

計：144件



エストニア共和国首相の来浜（4月7日）の様子

APRIL

4月の主な動き①

チュニジア共和国特命全権大使が来浜しました

4月5日に、カイス・ダラジ駐日チュニジア共和国特命全権大使が来浜され、林市長と面会しました。

横浜は、第4回及び第5回のアフリカ開発会議（TICAD）の開催都市となり、第5回の際は、チュニジア共和国の大統領に訪問いただいたほか、一校一国運動として白幡小学校ともえぎ野小学校がチュニジア共和国について学ぶなど、同国と交流を深めています。

2016年は日・チュニジア外交関係樹立60周年にあたり、また、第6回アフリカ開発会議が初めてアフリカで8月に開催される記念の年であり、横浜とチュニジア共和国の連携を今後一層強化していくことで意見が一致しました。

また、大使はその後、日本アフリカ友好横浜市会議員連盟の佐藤祐文会長と草間剛事務局長と面会されました。



エストニア共和国首相が横浜市を訪問しました

4月7日、エストニア共和国のターヴィ・ロイヴァス首相が、横浜を訪問し、林市長と面会しました。

その後、温暖化対策統括本部から、水素に関する取組について説明があり、低炭素なエネルギーとして期待されている水素の施設である、横浜大さん橋の移動式水素ステーションを視察しました。



サンディエゴ横浜姉妹都市協会の皆さんが来浜しました

横浜の姉妹都市であるサンディエゴ市から、サンディエゴ横浜姉妹都市協会会長をはじめ代表団が横浜を訪問し、4月11日に、林市長と面会しました。

林市長から「来年の60周年に向けて、温暖化やライフサイエンスなどの分野でも交流を促進したい」と挨拶がありました。



※サンディエゴ横浜姉妹都市協会は、1967年に設立された非営利民間団体です。サンディエゴと横浜との姉妹都市交流に関心があるサンディエゴ市民によって構成され、サンディエゴ市長は名誉会員となっています。2012年、姉妹都市提携55周年の年に、横浜文化賞を受賞しました。



ハンブルクから、桜の女王が横浜を訪問しました

4月15日、横浜の姉妹港があるドイツ・ハンブルクから、第1代ハンブルク桜の女王グレーヴェアト・ラウラさんが日独親善大使として横浜を訪問し、渡辺副市長と面会しました。

副市長から歓迎のあいさつの後、日本の文化などについて和やかな歓談となりました。





APRIL

4月の主な動き②

横浜日独協会主催でユースフォーラム横浜が開催されました

4月16日、パシフィコ横浜にある横浜国際協力センターで、第1回日独ユースフォーラム横浜（横浜日独協会主催）が開催されました。

このフォーラムは、日本とドイツの若者が日独両国の協力・交流について体験を交えた意見交換を行い、将来の活動の方向を話し合い、親睦を深める場を提供することを目的にしたもので、ドイツ大使館公使やトルンブ(株)社長の基調講演の他、ドイツ人学生と日本人学生が、日本とドイツの生活スタイルや恋愛事情、就職事情等について、活発な議論を行いました。



ドイツ文化センターオープニングセレモニーが開催されました

4月18日に、横浜国際協力センターで、東京ドイツ文化センター横浜校の開所式が開催されました。

東京ドイツ文化センターは、ドイツ連邦共和国の文化機関で、ドイツ語講座を中心に文化交流など様々なイベントを行っています。国内にはこれまで、東京、大阪、京都に拠点を開設しており、横浜は4か所目の拠点になります。



デンマーク大使が林市長と面会しました

4月19日に、フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国大使が、林市長と面会しました。

パシフィコ横浜で開催された学会の紹介や、2017年に行われる日本デンマーク外交関係樹立150周年イベントでの連携について、意見を交わしました。



トーゴ文化フェスティバルが開催されました

4月24日、「トーゴ文化フェスティバル」として、トーゴの歌手キング・メンサーのコンサートが横浜で行われました。

まず、キング・メンサーは「アフリカンフェスタ in ズーラシア」に特別ゲストとして、2名のトーゴ人歌手とともに出演し、自身が作詞・作曲した被災地熊本への応援歌を歌うなど、「トーゴのゴールデンヴォイス」と呼ばれる歌声を披露しました。

また同日夜の神奈川公会堂でのコンサートでは、来賓として出席したギニア日本交流協会顧問のオスマン・サンコン氏が「日本で一番アフリカに近い都市である横浜でのコンサートとなり、大変素晴らしい」とスピーチし、会場を盛り上げました。ボジョナ臨時代理大使からは、横浜市の協力への感謝の意と、今後のトーゴ関連プロジェクトにおいて本市との連携を一層深めていきたいとコメントがありました。





MAY

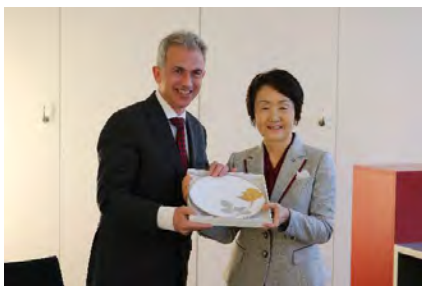
5月の主な動き①

林市長がフランクフルトを訪問しました

林市長は、パートナー都市提携5年目を迎えたフランクフルトを訪問し、アジア開発銀行（ADB）主催セミナーへの出席、ADBとの覚書更新、ADB年次総会次回開催国イベント及び引継セレモニーを実施するとともに、フランクフルト市との連携プログラムを通じて、新たな分野での連携をスタートさせました。



ADB主催セミナー



フランクフルト市長との会談



フランクフルト市との連携プログラム



日本人国際学校訪問



横浜市とADBの覚書更新

詳細（記者発表資料）

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201605/images/phpDERDKh.pdf>

マレーシア・セベランプライ市から研修生をお迎えしました

セベランプライ市（SP市）との間で、同市の歴史・自然を活かした都市計画の策定を支援するプロジェクトを展開しています。このプロジェクトは、本市の都市計画に関する知見と国際連携・協力の実績をベースに、都市整備局や道路局などの関連部局をはじめ、横浜市立大学、マレーシア科学大学、市民組織「横浜セベランプライまちづくり友好委員会」と連携した枠組みを構築し、平成27年にJICAの草の根技術協力事業として採択されました。

5月16日から6月3日まで、SP市からの3名の研修生を受入れ、研修を行いました。



（セベランプライ市での協議・現地調査の様子（28年1月））



MAY

5月の主な動き②

タブレット端末によるテレビ電話通訳サービスをモデル実施

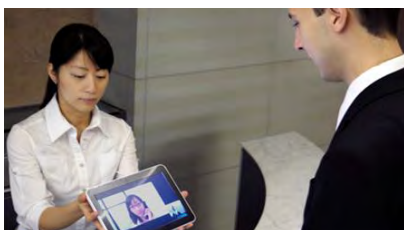
横浜市には約8万人の外国人が在住しており、区役所の窓口には日本語以外の言語でのコミュニケーションを必要とする方々が来庁します。

5月9日から、外国人が多く在住する3つの区（鶴見区・中区・南区）で、迅速かつ正確な窓口対応を目的として、外国語での対応を必要とする来庁者に対し、テレビ会議システムを介した多言語通訳クラウドサービスのモデル実施をスタートしました。

※本事業は、昨年度鶴見区で試験的に導入した通訳サービスを3区に拡大したものです。

【参考】記者発表資料

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201604/images/phpabTpXe.pdf>



(イメージ図)

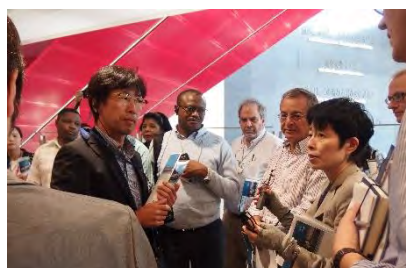
世界銀行から視察团を受け入れました

世界銀行による視察団が訪日し、市内を視察しました。中国、ベトナム、インド、メキシコ、ブラジルなど9か国から、スタッフを含め50名の方をお迎えしました。

今回の視察のテーマは「公共交通指向型開発」です。来浜した5月18日には、たまプラーザや、みなとみらい地区を紹介しました。



(たまプラーザの視察の様子)



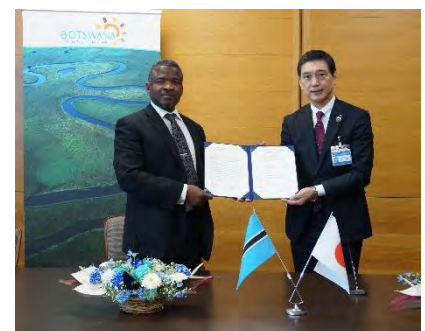
(みなとみらいの視察の様子)

駐日ボツワナ共和国大使館と都筑区が共同発表しました

平成28年は、ボツワナ共和国の独立50周年、および日本とボツワナ共和国の外交関係樹立50周年です。また、アフリカ開発会議（TICAD）が初めてアフリカで開催される記念すべき年です。

都筑区と駐日ボツワナ共和国大使館は、平成20年のTICADIVの横浜開催を契機に、積み重ねてきた交流を礎にして、50周年記念行事を連携して実施するとともに、市民の交流と相互理解の促進で一層協力することについて、5月23日（月）に共同発表を行いました。

また、同日に茅ヶ崎小学校3、4、5年生と茅ヶ崎中学校3年生を対象とした国際理解教室を実施しました。



(共同発表の様子)



MAY

5月の主な動き③

Y-PORT ワークショップを開催しました

Y-PORT事業では、より多くの市内企業の海外ビジネス展開につなげるため、関連する最新情報の提供や参加者間のネットワーク形成の場として、Y-PORTワークショップを開催しています。

5月25日(水)に第15回Y-PORTワークショップを開催しました。アジア開発銀行(ADB)駐日代表事務所、経済産業省及びJICAをお招きし、「アジア・太平洋地域におけるインフラ整備に向けたADBによる取組」、「質の高いインフラ輸出」について御講演いただきました。

本市からは、来年度、横浜で開催されるADB総会を見据えた取組や、ADBとの連携協定の更新等について紹介しました。

当日は約80名の方が参加され、熱心に聴講されていました。



(経産省によるインフラ輸出の現状と企業の海外展開支援の取組紹介)

上海市交通委員会が本市を訪問しました

上海市と横浜市は1973年に友好都市提携を結んで以来、40年以上にわたり、経済、教育、都市計画など毎年10程度の分野において幅広い交流を行ってきました。

5月30日(月)に上海市交通委員会の馮健理副主任一行6名の方が来浜しました。

本市の都市交通政策と港湾物流事業について知っていただくとともに、横浜港をクルーズしながら横浜の姿を海からご覧いただきました。



(上：港湾局での説明)

(下：港務艇おおとりでの説明)

韓国・仁川広域市の職員が本市を訪問しました

5月30日(月)～6月1日(水)に横浜市のパートナー都市である韓国・仁川広域市から8名の職員が来浜しました。

今回は職員研修の一環として、中華街や女性企業家支援の取組、中央職業訓練校、観光案内所(桜木町駅)などを視察しました。

引率兼通訳として来られたのは、チョン・ソニョンさん。仁川市との職員人事交流で2年間、国際政策室(現：国際局)で勤務されていた方です。久しぶりにお会いすることができ、思い出話に花が咲きました。



(上：中華街での記念撮影)

(下：女性企業家支援の取組視察)



【台北市で行われたドラゴンボートレースの様子】

JUNE

6月の主な動き①

3つの銀行と国際事業に関する連携協定を締結しました

6月9日に、三菱東京UFJ銀行との間、三井住友銀行との間、及び横浜銀行との間で、それぞれの強みを生かした連携協定を締結しました。

三菱東京UFJ銀行との協定では、邦銀随一の海外ネットワークを有する三菱東京UFJ銀行と、横浜市の多様な海外資源を生かし、海外事業を幅広く展開していく内容としています。

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/pre/201606/20160609-047-23349.html>

また、三井住友銀行との協定では、相互の強みを生かしつつ、Y-PORT事業を通じて海外インフラビジネス展開における連携を進めるとともに、外国・外資系企業に誘致促進に関する取組を進めることを内容としています。

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/pre/201606/20160609-047-23351.html>

さらに、横浜銀行との協定では、市内中小企業の国際ビジネス支援や、市内での国際会議と連携した取組を中心に、従来の連携を一層深化させ、国際都市・横浜の活性化につなげていきます。

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/pre/201606/20160609-047-23350.html>

パートナー都市・台北市との交流を促進しました

横浜市と台北市は、パートナー都市提携してから今年で10年目を迎えます！

6月8日～6月10日の3日間、国際局職員が台湾を訪問しました。提携10周年を機に、経済交流、文化交流、スポーツ交流等の分野で両市の関係を一層強化するために、台北市の職員や関係者と協議を行い、また今年秋に実施する交流事業の事前調整を行いました。

訪問期間中、関係機関との打ち合わせの他、台北市基隆河で開催された「2016 台北国際ドラゴンボート選手権大会」の視察をしました。

《台北市との主な交流実績》

- ・女子高校生バスケットボール交流
- ・アーティスト・イン・レジデンス
- ・図書交流 など



(台北市職員と打ち合わせの様子)

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター卒業式が行われました

6月10日に、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの卒業式が行われました。

当センターは、日本研究において50年以上の歴史を有する教育機関で、みなとみらいの横浜国際協力センター内に設置されています。毎年、ハーバード大学、スタンフォード大学をはじめとした北米の大学から、留学生約50人が、10カ月間、日本語を集中的に学び、文化、歴史、経済など様々な分野での日本研究を行っています。

1,900名を超える卒業生は、日本研究者や外交官、実業家などとして、世界中で活躍しています。テレビでおなじみの日本文学研究者、ロバート・キャンベルさんも卒業生の一人です。今回卒業された方々も、今後、日本と北米の橋渡しになることを期待しています。



(卒業パーティーの様子)



【大倉山国際学生フォーラム横浜 2016】

JUNE

6月の主な動き②

林市長がケニア大使と面会しました

6月10日にソロモン・カランジャ・マイナ ケニア共和国特命全権大使が、林市長と面会し、8月にケニアで開催される第6回アフリカ開発会議等について意見交換をしました。

横浜市は第4回、第5回の会議の開催地となったことを機にアフリカとの交流・協力を深め日本でアフリカに一番近い都市になりました。

ケニアとの交流・協力では、例えば、ズーラシアには、ケニア周辺の草原風景を再現した「アフリカのサバンナ」があります。また、アフリカの若手産業人材育成プログラム「ABE イニシアティブ」により、ケニアの若者が横浜国立大学で学んでいます。

今回の訪問を機に、横浜とケニアとの更なる協力促進につながっていきます。



(表敬訪問の様子)

大倉山国際学生フォーラム横浜 2016 が開催されました

6月20日に大倉山記念館で大倉山学生フォーラム横浜 2016 が開催されました。

このフォーラムは、「大倉陽子プロジェクトチーム」が米国ハーバード大学ライシャワー日本研究所と協力して主催したもので、ハーバード大学と横浜市内の3大学の学生が相互理解を深めることを目的としており、今回が5回目となります。

今回のフォーラムでは、ハーバード大学の学生と市内の3大学(横浜市立大学、慶応義塾大学、東京工業大学)の学生約60名が大倉山記念館に集まり英語コミュニケーションや共同文化体験(白い扇子へのペインティング)をしました。

また、現代日本社会文化研究者であるベスター・ライシャワー日本研究所所長と空間プロデューサーの相羽高德氏による講演も行われました。



(当日の様子)

ソウルで開催された国際会議で本市の住宅政策を発表しました

6月8日～10日に、ソウル特別市において、CITYNET等の主催により、「持続可能な開発目標(SDGs)における都市政策に関する国際フォーラム」が、また、6月11日には、スイス連邦工科大学ローザンヌ校の主催により、都市インフラやスマートシティに関するセッションが行われました。

この2つの国際会議で、建築局住宅再生課長が、横浜市郊外部における住宅政策について発表をしました。SDGsにおける都市政策に関する国際フォーラムには、国連人間居住計画(UN-HABITAT※)の事務局長も参加しており、10月に開催されるUN-HABITATの国際会議に向け、効果的なPRとなりました。

また、今回の発表にあたっては、シティネット横浜プロジェクトオフィスのスタッフも同行し、サポートいただきました。

※都市化や居住に関する様々な問題に取り組む国連機関です。



(フォーラムでの発表の様子)

【ベナン大使による笠間小学校の訪問の様子】



JUNE

6月の主な動き③

第1回ヨコハマ国際まちづくり推進委員会を開催

6月17日に平成28年度第1回ヨコハマ国際まちづくり推進委員会を開催しました。

「ヨコハマ国際まちづくり推進委員会」は、市内の日本人と外国人が互いの文化を尊重し、誰もが暮らしやすく活動しやすいまちづくりを推進するために設置された委員会です。

今回の委員会では、平成19年3月に策定された「ヨコハマ国際まちづくり指針」の改訂と、市内在住・在学の高校生の留学を支援する「世界を目指す若者応援事業」の選考の進め方等についてご議論いただきました。

市内在住外国人はもちろん、海外からの観光客が増加する中、「多文化共生」の取組がますます重要になっています。今後、委員会での議論を踏まえて、国際的なまちづくりを進めていきます。

【参考】

ヨコハマ国際まちづくり推進委員会
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/multiculture/machiinkai/machiinkai/>

世界を目指す若者応援事業
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/training/ouenjigyou/>

ベナン大使が笠間小学校を訪問しました

6月27日にゾマホン駐日ベナン共和国特命全権大使が笠間小学校(栄区)を訪問しました。

横浜市とベナン共和国コトヌー市は平成25年11月に交流・協力に関する共同声明を行い、昨年11月には、特に港湾分野の連携と若い世代の交流を促進していくことで合意しました。

笠間小学校は、コトヌー市にあるスルレ小学校と児童の音楽活動の様子を撮影したDVDを交換し交流を深めています。今年度は「国際理解教室」として1年間をかけてベナン共和国について学習しています。

今回、全校児童が体育館に集まり合唱部がフランス語でベナン共和国の国家を歌って大使を歓迎しました。その後、学校紹介や、5・6年生児童会の子どもたちとの意見交換会などを行い、ベナン共和国について理解や知識を深めました。



JICA 海外派遣ボランティアが副市長と面会しました

6月21日に、横浜市出身・在住のJICA新規派遣ボランティア(青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会シニアボランティア)の皆さん18名が、出発前の挨拶のため渡辺副市長と面会しました。

派遣隊員の皆さんから、自己紹介、横浜との関わりや抱負などをお話いただき、渡辺副市長からは、派遣隊員の皆さんへ激励の言葉が贈られました。

JICAでは、開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するため、昭和40年から海外にボランティアを派遣しています。平成27年で50周年になり、横浜から毎年40名前後の方が海外に派遣されています。



(派遣隊員のみなさんと)



【国際局 Facebook】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 7 月 8 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

《お知らせ》

国際局では本市で展開する国際事業に関する情報を、より多くの市民の皆様にお届けするため、平成 28 年 7 月より Facebook を始めました。 [f https://www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/](https://www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/)
また、アジア・スマートシティ・アライアンス (ASCA※) の Facebook ページ (英語) も開設し、会議に向けた最新情報を随時掲載しています。 [f https://www.facebook.com/AsiaSmartCityAlliance/](https://www.facebook.com/AsiaSmartCityAlliance/)

※アジア・スマートシティ・アライアンス (ASCA) とは、本市が主催する「アジア・スマートシティ会議」への参加都市や国際機関等の知見を共有し、多角的な連携を行うプラットフォームです。

セルビア共和国の乳がん対策に協力

本市は、平成 27 年秋より独立行政法人国際協力機構 (JICA) が開始した「セルビア国乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト」に協力し、同国政府の乳がん対策能力向上を支援しています。

このたび、セルビア国の政府職員、首都・ベオグラード市職員、医療関係者からなる研修員 8 名が訪日し、日本の乳がん対策について学ぶ研修を行っています。7 月 1 日～7 月 8 日まで健康福祉局、医療局、横浜市立大学のほか、市内の医療機関にご協力いただきました。



(研修の様子)

市内企業が環境省 JCM 案件に採択されました！

横浜市は、技術協力に関する覚書を交わしているダナン市 (ベトナム)、バタム市 (インドネシア) の行政機関や現地企業と横浜市内企業との間で、ビジネスマッチングを進めてきました。

この取組により、市内中小企業 2 社が提案した省エネ事業が、日本政府が進める二国間クレジット制度 (JCM) の設備補助事業において、環境省から採択されました！



(ビジネスマッチングの様子)

林市長が APEC 「女性と経済フォーラム」で基調講演！

林市長は、ペルー・リマで開催された APEC 「女性と経済フォーラム」にペルー政府からの招聘を受け、基調講演を行いました。

また、女性起業家を表彰する「APEC ベストアワード」にてオープニングスピーチを行いました。

あわせて、2013 年に共同声明を行ったカヤオ市を訪問し、ファン・ソトマヨル・ガルシア市長と会談しました。



(APEC ベストアワードの様子)



【「港湾の未来と都市の関係」会合でのスピーチとパネルディスカッション】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 7 月 20 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ISAP 2016 が開催されました

7 月 12 日～13 日にパシフィコ横浜国際会議センターで ISAP2016 が開催されました。

ISAP とは、国際的に活躍する専門家や企業、政府、国際機関、NGO 関係者が一堂に会し、持続可能な開発についてアジア太平洋地域の視点から議論を行う国際フォーラムです。Y-PORT センターの一員である（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）と国連大学サステイナビリティ高等研究所が開催しており、今年で 8 回目になります。

昨年、国際社会で合意された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や、「パリ協定」を、国際社会、国家、地方・地域レベルで効果的に実施していくための方策について議論を行い、持続可能な社会に向けたアクションを促しました。パネルディスカッションには、横浜市からは野村温暖化対策統括本部長が登壇し、横浜の様々なステークホルダーと連携したまちづくりについて発信しました。



（パネルディスカッションの様子）

シンガポール政府主催「世界都市サミット」で横浜の取組を発信

7 月 10～12 日に、シンガポール政府主催「世界都市サミット」の「港湾の未来と都市の関係」会合に平原副市長が出席しました。世界都市サミットは、世界各国のリーダー、自治体の首長、専門家、企業代表などが一堂に会し、「住みやすく持続可能な都市」をテーマに、都市が抱える課題について、解決策の議論や情報交換を行う国際会議です。住みやすく活気があり持続可能な都市創造に顕著な貢献をした都市に贈られる「リー・クワンユー世界都市賞」の受賞セレモニーが 2 年に一度、行われており、横浜市は、2014 年に市民や事業者と協力して取組を進めたみなどみらい 21 事業や港北ニュータウン事業、G30 計画の実績などが評価され、受賞しました。今回の会合では、2014 年の受賞で注目された本市のまちづくりの実績と、これを土台にした都市再生と課題解決の取組について参加者と共有し、世界へ発信しました。



（ネットワークング ミーティングの様子）

ネパール地震復興支援に関する覚書を締結しました

ネパール連邦民主共和国で平成 27 年 4 月 25 日に発生した地震によって、同国の首都・カトマンズ市をはじめとする多くの地域で、公共建築物、歴史的建築物、民間住宅などが被害を受けました。本市では、昨年 7 月に、職員を現地に派遣して復興支援に向けた調査を実施し、今年 3 月には、カトマンズ市職員を招いて公共建築物の耐震対策などをテーマとした技術研修を行いました。

このたび、横浜市技術職員（建築職）等を現地に派遣し、カトマンズ市技術職員向けの研修、被害建築物の耐震診断・助言等を行うとともに、震災復興を継続的に支援するための覚書を横浜市（建築局、国際局）とカトマンズ市、シティネット横浜プロジェクトオフィスの間で締結しました。



（覚書締結の様子）



【バタム市長(右から5番目)表敬の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 7 月 26 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

フィリピン国セブ都市圏で事業化に向けた調査が行われます！

横浜市は、新興国の都市課題問題の解決支援と市内企業の海外展開支援を目的とした国際技術協力事業、Y-PORT 事業を進めています。

平成 25 年 6 月に、本市が国に対して制度提案を行った「地方自治体と連携した無償資金協力」が、この度、外務省・JICA によって制度化されました。

これを受け、横浜市はフィリピン国セブ都市圏での技術協力の成果を生かし、具体的な事業提案を外務省・JICA に対して行った結果、「メトロセブ汚泥処理施設建設設計画準備調査」が行われる事に決定しました。

今後も、本市の有する技術・ノウハウを活用してセブ都市圏の持続可能な発展に貢献し、横浜水ビジネス協議会議等とも連携しながら市内企業によるインフラビジネス展開を支援します。



(平成 25 年の国家予算要望の様子)
右：岸田外務大臣、左：林横浜市長

横浜市とバタム市で、都市間技術協力を推進

横浜市とインドネシア国バタム市は、平成 27 年 5 月に都市間の技術協力をスタートしました。

7 月 15 日に、本市職員がバタム市長を表敬し、本市との技術協力の推進を改めて確認しました。

また、温室効果ガスの削減を目的とした、環境省 JCM (二国間クレジット制度) 案件形成調査のキックオフワークショップを、バタム市と現地のインフラ開発を所管する BIFZA (バタムフリーゾーン監督庁)、現地との民間企業の参加のもと、バタム市内において開催しました。

これらを通じて、省エネ技術を有する市内中小企業のアイフォーム東京株式会社(神奈川区)と株式会社ファインテック(緑区)が、JCM 設備補助事業の形成に向けて、現地キーパーソンと協議を進める事ができました。



(BIFZA 長官への表敬訪問の様子)

ADB 主催の会議で横浜市の都市づくりについて発信

7 月 12 日に、シンガポールで行われた、本市と「協力を推進するための覚書」を交わしているアジア開発銀行 (ADB) とシンガポール国立大学 (リークワンユー公共政策学校) が共催する、より良い都市づくりをテーマとした会議

(Cities and Middle Income countries; What can make cities More Successful and Liveable?) に、橋本国際協力部長がパネリストとして出席しました。

今回の会議では、横浜の都市づくりのノウハウの紹介と市民との共働、都市のリーダーシップによる重要性について発信しました。

また、ADB 中尾総裁が出席した他のセッション等においても、横浜市の都市づくりが成功事例として紹介されました。



(パネルディスカッションの様子)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 2 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【アフリカビジネスウーマンと政府職員の皆さんによる副市長表敬】

市内中小企業の事業提案が環境省の JCM 設備補助事業に採択

横浜市は、技術協力に関する覚書を交わしているタイ王国バンコクの行政機関や現地企業、横浜市内企業との間で、ビジネスマッチングを進めてきました。この取組により、市内中小企業が提案した、タイでの工場省エネ事業が、環境省が推進する二国間クレジット制度（JCM）の設備補助事業に採択されました。7月1日に採択された市内中小企業2社の提案に続き、3件目の採択となります。

採択を受けた事業は、これまでの横浜市による都市間協力やY-PORTセンターによる海外インフラビジネス形成の活動及び市内中小企業が提供するサービスの実績等が評価されたものと考えており、本事業の実施によって、省エネ機器等の導入施設における電力料金の低減や、日本の温室効果ガスの削減目標の達成等に貢献していきます。



（ビジネスマッチングの様子）

世界を目指す若者応援事業留学前ガイダンスを開催しました

横浜市では平成26年度から、「世界を目指す若者応援事業」として、国際社会を舞台に活躍を目指す市内在住・在学の高校生を対象とする海外留学支援事業を実施しています。

今年度は審査の結果、15の姉妹校等留学プログラムと12名の個人留学に対し、支援を行うことを決定しました。支援が決定した高校生の皆さんには、「横浜市を代表して留学する」という自覚と誇りを持って留学先で横浜の魅力をアピールしてもらうためのガイダンスを開催しました。

帰国後、留学先で横浜の魅力を自分の言葉で紹介したり、プレゼンテーションを行っていただき、報告書にその成果をまとめていただく予定です。



（ガイダンスの様子）

アフリカのビジネスウーマンが横浜を訪問しました

7月29日に、農業やファッション等の分野で活躍するアフリカ5か国のビジネスウーマン・政府職員の方が横浜を訪問しました。

今回訪問されたのは、第5回アフリカ開発会議横浜開催を機に横浜市とJICAの連携でスタートした研修事業「日・アフリカビジネスウーマン交流プログラム※」の参加者で、渡辺副市長と日本アフリカ友好横浜市議員連盟のメンバーが面会・歓迎するとともに、本市の女性起業家支援施策の紹介や市内女性起業家との交流を行いました。本市はJICAとの連携によりこのプログラムの実施に全面的に協力し、これまでアフリカの8か国から計47名を受け入れています。



※第5回アフリカ開発会議の際に日本政府が表明した具体的支援策の1つに「アフリカ女性のリーダーシップ、管理、起業における能力強化」があり、この実現のために立ち上げられたのが、本プログラムです。



【ムンバイメトロ1号線】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 15 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

インドにおけるプロジェクト 推進に向けた意見交換を実施

横浜市は、成長著しいインド及び東南アジア地域の活力を取り込み、市内経済の一層の活性化につなげていくため、インド及び東南アジア地域の企業の横浜誘致や市内企業のビジネス展開支援、更には、姉妹都市であるムンバイ市をはじめとした都市間交流等を目的として、インド・ムンバイ市に事務所を置いています。

ムンバイ事務所のコーディネートのもと、7月下旬に、国際局職員が訪印し、デリーの在インド日本国大使館、JETRO、JICAをはじめ、カルナタカ州及びベンガルール市政府関係者との面会やムンバイメトロ鉄道公社等を訪問し、インフラビジネスを中心とした今後のプロジェクト展開について意見交換を行いました。



(現地での意見交換)

第3回国連人間居住会議準備会 合で本市の取組をPR

7月25日から27日まで、インドネシアのスラバヤ市で、第三回国連人間居住会議※（ハビタット3）準備会合が開催され、世界百数十カ国から数千人の政府関係者及び国連関係者等が訪れました。

会場内のサイドイベントで本市職員がスピーカーとして出席し、横浜の都市づくりのノウハウの紹介と市民との共働、都市間連携の状況について発信しました。また、展示会場の日本政府ブース内で本市の技術協力に関する取組を紹介しました。



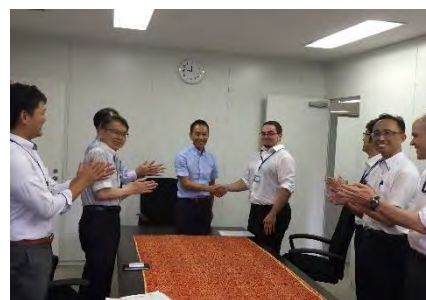
(プレゼンテーションの様子)

※国連人間居住会議は、途上国で急速に進展する都市化に伴う課題をはじめ、人間居住に関わる課題解決のために20年に一度開催される正式な国連会議です。

新たに国際交流員をお迎えしました

JETプログラム※の一環として、8月3日、国際局に国際交流員（CIR: Coordinator for International Relations）を新たにお迎えしました。カナダ出身の、アレクサンドル・マルタンさん（写真中央右側）です。

英語、フランス語、そして日本語のスキルを生かして、横浜の国際交流を一緒に盛り上げてくれることを期待しています。



(国際局職員との面談)

※JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）は、日本における外国語教育の充実を図るとともに、青年交流による地域レベルでの国際交流の発展を図ることを通じて、わが国と諸外国との相互理解を増進し、もって地域の国際化を推進する事業です。

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 22 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【セベランプライ市長とのディスカッションの様子】

セベランプライ市で横浜市の 専門家派遣による現地業務を 実施

横浜市では、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）として、マレーシア国セベランプライ市における、歴史・自然を活かしたまちづくりプロジェクトを、マレーシア・セベランプライ市、横浜市立大学、マレーシア国立科学大学、横浜セベランプライまちづくり友好委員会、民間専門家及び国際協力機構（JICA）との連携により、平成 27 年 12 月に開始しました。

セベランプライ市ブキマタジャン地区の都市デザインの策定のため、8 月初旬に、国際局・都市整備局・横浜市立大学、横浜セベランプライまちづくり友好委員会、民間専門家の派遣による現地業務を実施しました。



（全体ディスカッションの様子）

ベトナム国ダナン市の廃棄物課題 に公民連携で取り組みます！

横浜市と 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）が提案した、ベトナム国ダナン市における「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業」が JICA 草の根技術協力事業に採択されました。この事業では、急増するごみ量と廃棄物最終処分場の不足に対応するため、ダナン市内にモデル地区を選定し、市民によるごみの分別により、ごみ量の削減と効果的な収集・運搬を進めます。

市民・事業者・行政の協働のもと、横浜市がこれまで培ってきた、ごみの分別の仕組づくりなどを市職員の現地派遣や、横浜市における研修などを通じて、ダナン市へ提供し、また、廃棄物の収集運搬やリサイクル技術のノウハウをもつ市内企業を講師として現地に派遣することを契機に市内企業による海外ビジネス展開を後押ししていきます。



（ダナン市 廃棄物最終処理場）

防災に関する情報提供につ いてヒアリングを実施しました

横浜市では、市内在住の外国人のための生活情報提供、相談を多言語で実施するとともに、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを行うため、国際交流ラウンジを設置しています。

8 月 9 日に、その 1 つである「つづき MY プラザ」の協力のもと、防災に関する情報提供について、市内在住の外国人の方にヒアリングを行いました。市内在住の外国人に加え、旅行やビジネスで訪れる外国人が増加する中、外国語での防災情報提供の重要性が高まっています。いただいたご意見を踏まえ、より効果的な情報提供を目指していきます。



（ヒアリングの様子）



【救急対応に関する講義・ワークショップの様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 29 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ルーマニアセミナーが開催 されました

市民ギャラリーで開催中(8月10日～21日)のルーマニア民族写真展に合わせ、8月13日(土)にルーマニア・セミナー(日本・ルーマニア協会主催)が行われました。

セミナーには市内外から約80名が参加され、在日ルーマニア大使館、写真家みやこうせい氏からルーマニアの魅力の紹介がありました。

国際局からは、姉妹都市であるルーマニア・コンスタンツァ市との交流について御紹介し、来年の提携40周年を一緒に盛り上げていけるようPRしました。



(セミナーの様子)

フィリピン・イロイロ市での コミュニティ防災の推進に協力

横浜市は2012年からJICA草の根技術協力事業として「フィリピン共和国イロイロ市におけるコミュニティ防災推進事業」を実施しています。

この一環として7月28日～8月3日に、横浜市職員や災害ボランティアをされている横浜市民の方がフィリピン・イロイロ市を訪れ、イロイロ市職員、国の消防職員、大学関係者、住民等を対象とした研修を実施しました。

今回の研修では、本市消防局の職員から火災予防の取組や救急対応に関する講義・ワークショップを行いました。また、都市整備局の職員からは、住民が主体となったハード整備を行政が後押しする、「ヨコハマ市民まち普請事業」や、地域と協働して行う防災まちづくりの取組等について紹介しました。



(研修の様子)

世界を目指す若者応援事業の帰国 者懇談会を開催しました

8月18日に、世界を目指す若者応援事業で留学した方々の帰国者懇談会を開催しました。皆さんから、留学中の経験談を話していただきました。

最初の数か月間は、言葉が通じずコミュニケーションが上手にとれなかった等、実際に苦労した話も出ましたが、帰国した今、留学をして日本の良さを感じる事ができた、英語を使った仕事やボランティアに就きたいなど、笑顔でたくさんの報告をしてくれました。最後に、日本や韓国に留学経験のある国際局職員のイブさんから皆さんに向けて、海外で出逢った友達や、つながりを大事にして、自分の将来につなげてほしいという話がありました。

皆さんには今後、11月のアジア・スマートシティ会議での応援や、来年の留学報告会での成果発表を行っていただきます。これからの活躍に期待しています！

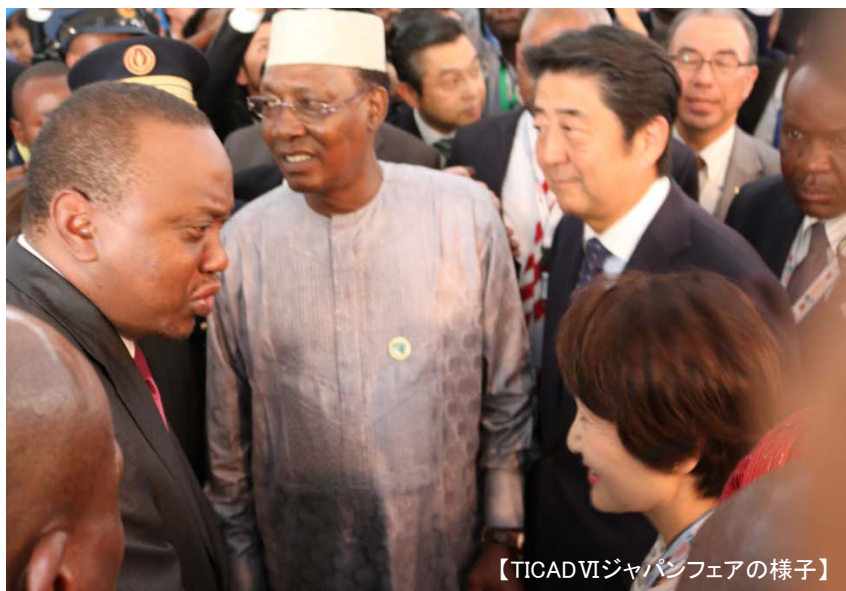


(懇談会の様子)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 9 月 5 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【TICAD VI ジャパンフェアの様子】

フィリピンにおける技術協力の 推進に向けた協議を実施

7月28日から8月3日まで、国際局職員がフィリピン共和国マニラ市及びセブ市を訪問しました。

マニラでは、アジア開発銀行（ADB）本部を訪問し、5月に更新した覚書に基づく技術協力や来年度横浜で開催予定のADB総会でのインフラ関係の取組について協議を行いました。

また、セブ州知事及び市長への表敬訪問等を行い、本市が進めている技術協力について意見交換を行ったほか、現地インフラ関連施設の視察を行いました。



（セブ州知事面会）



（セブ市長面会）

シンガポール幹部候補生視察団 が来浜されました

8月29日に、シンガポール国土機関長官を団長とする政府幹部候補職員総勢40名が来浜しました。横浜が持つ都市計画、環境対策、緑化事業の知見を共有するため、昨年3月に続き2度目の来浜となります。

みなとみらい21地区の都市開発、環境にやさしい総合空調管理システム、山下公園をはじめ市内の各公園で展開される緑と花の整備事業、全国都市緑化横浜フェアの取組、港北ニュータウンにおけるグリーンマトリックスシステムを取り入れたまちづくりなど、たくさんの視察を行いました。



TICAD VIで横浜をアピールする とともに、次回会議誘致を表明

林市長は、第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）開催にあわせ、ケニア・ナイロビを訪問しました。

現地では、「女性の社会経済開発改善サイドイベント」、「日・アフリカ官民インフラ会議」、「廃棄物管理セミナー」の3つのTICAD VI サイドイベントでそれぞれ英語でプレゼンテーションを行い、横浜の女性活躍推進の取組や都市開発の経験、アフリカとのつながりを紹介しました。また、展示会「ジャパンフェア」では、横浜企業と連携し、横浜のアピールを行いました。

さらに林市長は、こうした成果と平成20、25年の第4回、5回会議の横浜開催の経験を土台に、平成31年に日本で開催予定の次回第7回会議（TICAD VII）の開催都市に横浜市が立候補し、今後誘致に取り組んでいくことを表明しました。



（「女性の社会経済開発改善サイドイベント」でのスピーチ）

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 9 月 14 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



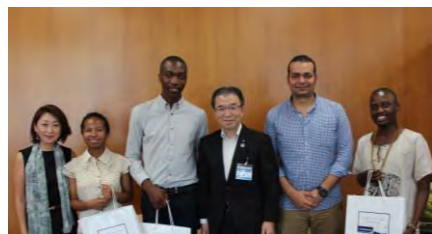
【ADB 関係者とのウランバートル市表敬の様子】

ABE イニシアティブの研修生が 渡辺副市長を表敬しました

9 月 7 日に、ABE イニシアティブ（アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ）の研修員として来日し、市内企業の日之出産業㈱でインターンシップを行う 4 名（南アフリカ、エジプト、マダガスカル）の方が、渡辺副市長を表敬訪問しました。

ABE イニシアティブは、日本政府、JICA が実施している事業で、アフリカ諸国の優秀な若手人材を留学生として日本へ受け入れ、大学における教育と企業でのインターンシップ実習を行うプログラムです。

今回のインターンシップの経験を通じて、日本企業の技術や商慣習などを学び、研修生の皆さんの専門性がさらに高まることを期待しています。



（渡辺副市長と研修生の面会）

本市の ABE イニシアティブ活用促進の事例

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ko-kusai/exchange/abeinitiative.html>

アジア開発銀行（ADB）主催の セミナーで本市の都市づくりや 技術協力について発信しました

アジア開発銀行（ADB）が主催する国際セミナーへの参加要請を受け、9 月 2 日～3 日に開催された同セミナーにおいて、横浜市の都市づくりや技術協力に関する取組をプレゼンテーションしました。

このセミナーは、ADB がモンゴル国ウランバートル市で進めている、都市計画にかかる研修プログラムの一環で、ウランバートル市幹部への面会、フォーラム、都市間協力ワークショップなどが行われました。

本市の取組を発信すると同時に、カナダやフランス、ベトナムなど他都市の施策やウランバートル市の開発ニーズを学び、多都市間による協力の可能性を探る貴重な機会となりました。



（ワークショップの様子）

アカデミックコンソーシアムで 横浜市の取組を発信しました

横浜市立大学が構築を進めるアジアの大学を中心としたネットワーク「アカデミックコンソーシアム」の第 7 回大会が、9 月 5 日～7 日にマレーシア科学大学で開催されました。アカデミックコンソーシアムは、持続可能な社会をめざして、主にアジアの各都市が抱える問題や課題の解決を目指す大学間ネットワークで、「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の 3 つのテーマで活動を展開しています。

横浜市はマレーシア・セベランプライ市との間で、同市の歴史・自然を活かした都市計画の策定支援プロジェクトを JICA 草の根技術協力事業として展開しています。今回の第 7 回大会がセベランプライ市の対岸に位置するペナン島のマレーシア科学大学で開催されたことから、国際局職員もこの大会に参加し、プロジェクトの実施状況をはじめ本市の国際政策について基調講演を行いました。



（基調講演の様子）

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 9 月 29 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【ブルキナファソ大使ご夫妻と児童たちとの交流の様子】

台湾・高雄で世界港湾都市フォーラムが開催されました

9月6日(火)から8日(木)に台湾・高雄市で「世界港湾都市フォーラム」が開催され、主催者である高雄市政府からの招請を受けて国際局職員が参加しました。

世界港湾都市フォーラムは、世界各地の港湾都市のリーダーが集い、港湾都市の発展に向けて議論を行う国際会議です。

フォーラムでは、本市のみならず、21事業及び国際施策について発信しました。



(フォーラムの様子)



Y-PORT ワークショップを開催しました

9月16日(金)に、Y-PORT事業を通じた海外インフラビジネス展開の情報交換の場である「Y-PORT ワークショップ」を開催しました。

今回のワークショップは、「先進的かつユニークな取組(金融機関の進める成長産業分野における取組、IoT、位置情報システム)と連携した新たな海外ビジネス展開の可能性を探る!」をテーマに、新たなビジネス展開の可能性を感じさせる内容となりました。

今年6月に本市と連携協定を締結した(株)三井住友銀行様より、横浜市との連携協定に基づく横浜市内企業との海外ビジネス展開に向けた取組についての情報提供、また日本電気(株)様から持続可能な街作りに向けたエコシステムについてのご紹介、Pacific Spatial Solutions様からは先進的なGISの活用についてご紹介をいただきました。

本編終了後の名刺交換会においても、講演者・参加者間で活発なネットワーキング・情報交換が行われました。



(Y-PORTワークショップの様子)



ブルキナファソ大使が市内小学校を訪問しました

ブルキナファソの特命全権大使であるウビダ閣下ご夫妻が、9月17日(土)に港南台第二小学校の創立40周年記念特別授業に参加されました。

平成25年の第5回アフリカ開発会議(TICAD V)の際、「一校一国運動」でブルキナファソについて学習したことから、港南台第二小学校とブルキナファソ大使館との交流が続いています。

当日は、ブルキナファソについての紹介のほか、ブルキナファソの民族衣装の試着や伝統楽器に触れたりする体験を通じて、児童たちはブルキナファソの文化について理解を深めました。また、大使ご夫妻は全校児童参加の記念集会にも参加され、クラスで一緒に給食も食べ、児童たちとの交流を楽しまれました。

※ブルキナファソは、アフリカ西部に位置する国で、8月末に開催された第6回アフリカ開発会議の際に林市長がブルキナファソ大統領と面会したほか、ナショナルデー記念プログラムを平成26年から行っているなど、横浜と深いつながりがある国の1つです。



【新規 JICA ボランティアの皆さんによる渡辺副市長表敬訪問の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 6 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

仁川広域市から視察団が来浜しました

9 月 26 日に、仁川広域市から都市計画局の職員、大学教授、民間企業エンジニア等の方々が横浜市役所を訪問しました。

仁川市では、ソウル～仁川間の道路機能の改良を進め、2 都市の生活圏をつなぐことで、都心の活性化を図る事業を進めており、今回の訪問で、これまで横浜市が推進してきた都市開発について説明を受けたいとの要請がありました。

本市都市整備局、環境創造局からは、「アメリカ山公園、新横浜駅、東急東横線の跡地利用」の事業内容や、事業を推進する中で直面した課題やその解決策、地域経済への波及効果などについてご紹介しました。



(視察団への本市施策説明の様子)



汚泥処理施設の建設事業についての事前調査に参加しました

9 月 20 日から 29 日まで、JICA 職員と共に本市環境創造局と国際局が、フィリピン共和国セブ市を訪問しました。

本市が JICA に提案したセブ都市圏の汚泥処理施設の建設事業に関して、本市環境創造局と国際局が JICA の事前調査に参加し、現地の行政機関等との協議を行いました。セブ市では、家庭から排出される汚泥が河川に流出したり、地下への浸透によって地下水が汚染されたりする可能性が指摘されており、この事業により汚泥が適切に処理・浄化されることが期待されています。



(協議の様子)



(事前調査の様子)

青年海外協力隊の皆さんが渡辺副市長を表敬訪問しました

JICA では、開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するため、1965 年から海外にボランティアを派遣しています。派遣は毎年 4 回にわたり実施され、全国から約 1,000 名、横浜市内からは 40 名前後の方々が海外に派遣されています。また、JICA の青年海外協力隊事業は、長年の功績が認められ、本年 7 月にはアジアのノーベル賞とも称されるラモン・マグサイサイ賞(※)を受賞しました。

今回、派遣される青年海外協力隊 11 名、シニア海外ボランティア 2 名、計 13 名の新規派遣ボランティアの皆さんが、9 月 20 日に渡辺副市長を表敬訪問しました。隊員の皆さんから、抱負など出発前の挨拶をいただくとともに、渡辺副市長からは、隊員の皆さんに激励の言葉が贈られました。

※アジアのノーベル賞と呼ばれる「ラモン・マグサイサイ賞」は、フィリピンのラモン・マグサイサイ大統領を記念して創設された賞で、毎年アジア地域で社会貢献などに傑出した功績をあげた個人や団体に対し、贈られます。昨年 50 周年を迎えた青年海外協力隊の、現地の人々と生活し、共に働くという理想と精神に基づいた、これまでのアジア地域の経済と社会の発展への貢献が認められ、今回の受賞となりました。



【テルアビブ市でのシティズサミットの様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 13 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

イスラエル・テルアビブ市を訪問

9月23日～30日に、横浜で活躍している企業・経済機関、大学関係者及び横浜市の職員が、イスラエル・テルアビブ市等を訪問しました

横浜市は平成24年にテルアビブと交流協力共同声明を行って以来、連携を深めています。こうした結びつきが土台となり、駐日イスラエル大使館から横浜市に、同国政府による招聘事業「ヤング・リーダーシップ・プログラム」への参加をご提案いただいたもので、自治体が同プログラムにより代表団を派遣するのは、横浜市が初となります。

代表団は、テルアビブ市等で起業・イノベーションの状況を学ぶとともに、関係者と活発な意見交換を行いました。また、都市課題へのソリューションやイノベーション等をテーマに開催されたシティズサミットでは、国際局長がパネリストとして参加し、本市の健康増進施策について発信しました。今回の派遣を起点として、横浜とイスラエル・テルアビブ市とのビジネスや学術連携を一層加速していきます。



「シティネット防災クラスターセミナー」が台北市で開催

9月22日～24日に「第9回シティネット防災クラスターセミナー」が、台北市で開催され、横浜市から医療局、総務局、国際局の職員が参加しました。

このセミナーは、シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）の防災文科会の会員都市が年1回、一同に会して、開催されるものです。セミナーでは、本市の災害医療体制や危機管理政策について発信するとともに、アジア諸都市の共通課題となっている地震、台風、洪水などの自然災害への対応や防災に関する知見の共有、今後の活動計画について活発な議論が交わされました。



(防災クラスターシンポジウムの様子)



(視察の様子)

※防災クラスター会議とは、シティネット加盟都市及び団体間で防災に関する知見や技術を共有することを目的として開催しています。横浜市はシティネット防災部会の議長都市です。



ソウル特別市からの派遣職員 イム・ハンスクさんをお迎え しました

横浜市は平成24年からソウル市と職員の相互派遣を実施しており、両都市間の友好関係の強化と国際理解の促進を図っています。

本日、国際局に韓国ソウル特別市からの派遣職員、イム・ハンスクさんを新たにお迎えしました。ビッグデータなどデータ活用の事例をはじめ、幅広く本市の政策について関心を持たれており、横浜とソウルの懸け橋としてご活躍されることを期待しています。



(イム・ハンスクさん (左))

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 18 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【林市長とリヨンのジェラルド・コロンの市長・代表団のみなさん】

姉妹都市リヨンのジェラルド・コロンの市長が横浜を訪問

横浜市とリオン市は、昭和 34 年(1959)に姉妹都市として提携以来、半世紀以上にわたり交流を深めてきました。近年、文化芸術、地球温暖化対策、大学、経済など幅広い分野での交流・連携が進んでいます。

10 月 7 日にフランス・リヨンのジェラルド・コロンの市長をはじめとする代表団が、林市長と面会し、これまでの連携の成果と一層の促進について意見交換を行いました。



(意見交換の様子)



ドイツ・インダストリー4.0 (第4次産業革命)セミナー が開催されました

10 月 5 日に、公益財団法人横浜企業経営支援財団 (IDEC) 主催、横浜日独協会共催により、ドイツ・インダストリー4.0 (第4次産業革命) セミナーが開催されました。

欧州における ICT 拠点であるバイエルン州の駐日代表部クリスティアン・ゲルティンガー代表から、「インダストリー4.0 のドイツにおける状況と中小企業への適用策」として基調講演をいただいたほか、日独の企業における I o T の取組紹介、パネルディスカッションなどが行われました。



(セミナーの様子)



ルーマニア交流～「オйна」 の体験イベントが開催されました

来年 2017 年、横浜市とルーマニア共和国・コンスタンツァ市が姉妹都市提携 40 周年を迎

えるにあたり、横浜コンスタンツァ友好委員会が、ルーマニア・オйна連盟を迎え、横浜スポーツ鬼ごっこ愛好会の協力を得て、ルーマニアの伝統スポーツ「オйна」体験イベントが 10 月 2 日に開催されました。

「オйна」は、攻守 11 名の選手で行われ、野球同様、バットとボールを使うスポーツですが、守備側が出塁したランナーにボールを当てることで得点できる点が大きく異なり、攻守ともに試合展開から目が離せないのが魅力です。

当日は、天候にも恵まれ、参加者の皆さんは、ボールを青空に、たくさん打ち上げて「オйна」を楽しみ、大いに盛り上がりました。





【よこはま国際フェスタ ステージイベントの様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 21 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ダナン市の行政機関とキックオフミーティングを行いました

横浜市では、平成 25 年 4 月からベトナム国ダナン市と都市間技術協力を進めており、経済産業省が実施する、ベトナム国「ダナン港（リエンチュウ地区）開発計画調査」に協力し、本市の技術・知見の活用を進めています。

この調査において、9 月 20 日にダナン市の行政機関とキックオフミーティングを行いました。ダナン市人民委員会委員長からは、横浜港をモデルとして計画を進めていきたいとの話がありました。なお、本調査には、横浜港埠頭株式会社ターミナル計画担当として参画しています。



(キックオフミーティングの様子)



日中の地下空間に関する交流会が行われました

10 月 3 日、4 日に、みなとみらいのクイーンズスクエアで「日中の地下空間に関する交流会」が

J-CODE、横浜市、UR 都市機構、IDEC、上海市城市科学研究会の共催で行われました。

都市化が進む中国では、地下空間を有効活用するための検討が積極的に進められており、この分野での先進的な技術をもっている日本のノウハウや事例が目まぐるしく注目されています。

交流会では、初日に、中国側の現状や課題と、横浜の共同溝（※）技術について意見交換をしたほか、二日目の現地視察では、みなとみらいの熱供給システム、クイーンズスクエアの地下駐車場・モール街、みなとみらい中央駅、ポルタ地下街等の地下施設の視察を行いました。

※「共同溝」とは、水道、ガス、電気、通信等の配管、配線類を地下のトンネル内に共同に収容する施設です。



(交流会の様子)



(熱供給システム視察の様子)

よこはま国際フェスタ 2016 が開催されました

10 月 8 日（土）～10 日（月）の三連休に、みなみらい地区のグランモール公園で、よこはま国際フェスタ 2016 が開催されました。「ともに生きる横浜 ともに創る世界」をテーマに国際協力・多文化共生に関わる約 100 団体が集い、三日間で 5 万 4 千人の来場者でにぎわいました。

国際局もブースを出展し、国際協力や都市間連携、多文化共生などの施策を通じた国際平和への貢献をパネル等で紹介しました。また、本市の呼びかけで、アフリカの 9 つの大使館も出展した他、アフリカの文化や芸能を伝えるステージイベントも行われました



(国際局ブース)



(ステージイベントの様子)



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 24 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

「ディワリ・イン・ヨコハマ 2016」が開催されました

10月15日・16日に、山下公園にて、国際局が共催しているインドのお祭り「ディワリ・イン・ヨコハマ2016」が開催されました。

「ディワリ」とは、インドの新年を祝う国民的なお祭りで、インドでは11月上旬がその期間にあたります。当日は、ダンスなどの楽しいイベントや、美味しいインド料理を味わえるなど、横浜で様々なインド文化を楽しめるお祭りとなりました。

駐日インド大使も出席される中、横浜市を代表して渡辺副市長からは、これからも、成長著しいインドの皆様との関係を深めることにより、横浜とインド双方の発展に寄与していきたい等の挨拶がありました。

ディワリへの参加を通じて、インドの魅力を体感しながら、横浜とムンバイの友好交流についてもご関心をお持ちいただければ幸いです。



(ディワリの様子)

アジア開発銀行（ADB）の協議を進めました

9/26～28に国際局、文化観光局職員がフィリピン・マニラにあるADB（アジア開発銀行）を訪問しました。

今回の訪問では、本市とADBとの連携による市内企業のアジア進出の推進に向けた意見交換や、企業向けADBセミナーの開催に向けた協議を進めました。

また、今年11月に横浜で開催予定の第5回アジアスマートシティ会議に、昨年に引き続きADB職員の方もご参加いただき、持続可能な都市づくりに関する知見の共有にむけて協力要請を行いました。



(協議の様子)



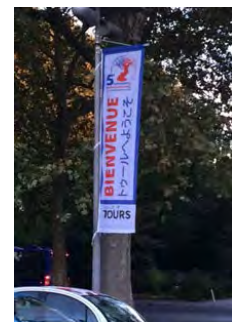
フランスのトゥール市で日仏自治体交流会議が開催されました

10月5日～6日、フランスのトゥール市で第5回日仏自治体交流会議が開催されました。日仏両国計39の自治体が参加し、「イノベーション」をテーマに、経済や産業、文化、都市開発など様々な分野で各都市の取組を紹介しあい、活発な意見交換が行われました。

横浜市からはフランクフルト事務所長が参加し、「横浜の環境に配慮した持続可能な都市開発や市民の皆さまと協働した街づくり」についてプレゼンテーションしました。



(プレゼンテーションの様子)



(街ののぼり)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 31 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【ズーラシアと台北市立動物園の間での覚書締結の様子】

パートナー都市台北市と経済・文化・環境の分野で連携強化

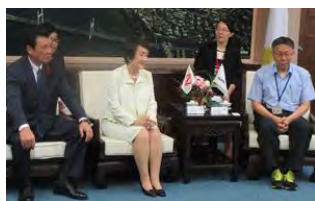
パートナー都市提携 10 周年を迎えている台北市の柯文哲（か・ぶんてつ）市長からご招待を受け、10 月 20 日～22 日に林市長と梶村議長が同市を訪問しました。

柯市長との会談では、経済、環境、文化等の分野での両市の連携を一層強化することで合意しました。

20 日には、横浜市と台湾貿易センターの共催による経済セミナーを開催し、林市長が講演を行いました。講演では、台湾ビジネス界での活躍が期待される若手ビジネスパーソンに向けて、横浜の魅力を PR しました。

21 日には、よこはま動物園ズーラシアと台北市立動物園の間で、野生生物及び生物多様性の保全等について協力関係を構築するための連携・協力に関する覚書を締結しました。

今後、両動物園の間では、生息域外保全のための動物交換や動物の保全に関する調査・研究等の分野で連携・協力を推進していきます。



（柯市長との会談の様子）

フランクフルトの高校生が横浜を訪問し学校交流を行いました

10 月 11 日～14 日に、シュレー・アム・リード（フランクフルトの総合高校）の生徒 11 名が横浜を訪問し、市立みなと総合高校と学校交流を行いました。

横浜とフランクフルトは、平成 23（2011）年にパートナー都市として提携し、市民、特に若い世代の交流を促進しており、提携から 5 年目にあたる今年、1 月のフランクフルト市長の横浜訪問、そして 5 月の林市長のフランクフルト訪問を契機に、両市の学校間の交流に向けた調整が加速し、今回の訪問が実現しました。

11 名の生徒達は、授業体験や書道や茶道などの日本文化の体験を通して、みなと総合高校の生徒たちとの交流を深めました。



フランクフルトで和太鼓のワークショップが開催されました

10 月 15 日、16 日、フランクフルトで和太鼓のワークショップが開催されました。伊勢佐木長者町駅前にある和太鼓スクール「ヒビカス」の近藤克次先生の指導で、今年で記念すべき 10 年目を迎え、ドイツ各地やスイスから約 30 人が参加しました。

15 日の夜には、ワークショップ開催 10 年目と、横浜とフランクフルトとのパートナー都市提携 5 年目を祝うレセプションが開催され、本市のフランクフルト事務所長やフランクフルト市国際室の課長が祝辞を述べました。



（ワークショップの様子）

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 4 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【林市長 ドゥテルテ大統領をお出迎えする様子】

フィリピン共和国・ドゥテルテ 大統領の歓迎昼食会を開催

10月27日に、岸信夫外務副大臣と林文子横浜市長との共催による、フィリピン共和国のロドリゴ・ドゥテルテ大統領の歓迎昼食会を、横浜市内で開催しました。

日本側、フィリピン側あわせて、約40名が出席し、横浜市からは、林文子市長、梶村充横浜市会議長、加藤広人横浜市会副議長のほか、経済界やマニラとの友好に取り組む市民団体の代表の皆さんが出席し、大統領の横浜訪問を歓迎しました。

林市長からは、「本日、ロドリゴ・ドゥテルテ フィリピン共和国大統領を横浜にお迎えできましたことを、大変光栄に思っております。大統領と昼食をご一緒し、大変親しくお話しさせていただきました。横浜市は、今回の大統領のご訪問を契機に、フィリピンとの、経済分野をはじめとする交流・協力を、一層取り組んでいきます。」とのコメントがありました。

詳細はこちら↓

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ko-kusai/20161027philippines.pdf>

BIFZA の高官が来浜。国際局長 を表敬訪問しました

バタム島は、シンガポールの対岸約20kmにある、インドネシア共和国の経済特区として成長が期待される都市です。

10月17日に、環境省の招聘でバタム市及びBIFZA(バタムフリーゾーン監督庁※)の高官が来浜し、国際局長を表敬訪問しました。

その翌日からは、今年度の環境省JCM案件形成可能性調査に参加している市内中小企業の株式会社ファインテック及びアイフォーコム東京株式会社の国内現場の視察を行い、各企業の持つ技術について理解を深めていただきました。また、バタム市のグリーン成長及びバタム市内での事業化へ向けて協議を行いました。

※BIFZAとは…インドネシア共和国バタム島の貿易投資振興に関わる政府機関です。



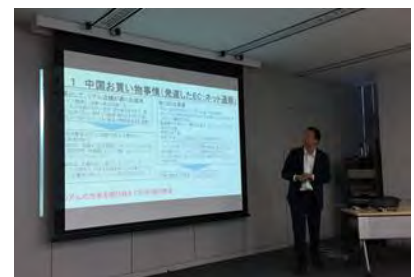
(表敬訪問の様子)

中国経済セミナーが開催されま した

上海事務所では、中国における経済・観光分野のビジネス展開支援を行っているほか、上海市との友好都市交流など幅広く事業支援を行っています。

10月25日に、関内の公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDECC)で中国経済セミナーが開催されました。

講師を務めた、横浜市上海事務所長(兼IDECC上海事務所長)からは、「中国訪日インバウンド・消費市場分析～ポスト爆買～」と題して、昨年度、日本中で話題になった中国人観光客による「爆買」後、注目を集め始めている「越境EC」(国境を越えた通信販売)やクルーズを始めとした観光ビジネスなど、中国消費市場の最新動向をわかりやすく講演していただきました。



(講演の様子)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 9 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【仁川広域市公務員合唱団 副市長表敬訪問の様子】

仁川広域市公務員合唱団が市庁舎にて公演、副市長を表敬訪問

10月28日に、市庁舎市民広間にて、仁川広域市公務員合唱団「コーラスファンタジー」と横浜市役所合唱サークル「ぼこ・あ・ぼこ」の合同公演が開催されました。

合同公演では、「秋心」、「大地讃頌」、「Hallelujah!」を合唱し、素晴らしいハーモニーを響かせ、心打たれる演奏会となりました。

その後、コーラスファンタジーの皆さんは、渡辺副市長と面会し、副市長から、「今回の合同演奏会の開催を契機として、両市の関係が更に深まり、『ともに成長するパートナー』として、より深いお付き合いを継続したいと思います。」等の歓迎の挨拶がありました。

※昨年12月には、「ぼこ・あ・ぼこ」のメンバーが仁川広域市を訪問し、仁川市役所ホールにおいて、合同演奏会が開催されました。



(公演の様子 市庁舎市民広間にて)

フランクフルトにて記念式典が開催されました

「横浜市とフランクフルト市のパートナー都市提携5年目」、そして「フランクフルト独日協会創立60周年」等を祝う記念式典が、10月27日、フランクフルト旧市庁舎レーマー内のカイザーザール「皇帝の間」で開催され、150名以上の独日関係者が参加しました。

横浜からは、横浜日独協会の早瀬勇会長が祝辞を述べられ、同協会のこれまでの幅広い活動を紹介されました。



(式典の様子)



(祝辞を述べられる早瀬会長)

JCM 都市間連携ワークショップが開催されました

10月20日、21日に、環境省が進める二国間クレジット制度(JCM事業)に関して、「二国間クレジット(JCM)都市間連携ワークショップ」が北九州市で開催され、環境省から参加依頼を受けたJCM都市間連携を推進する本邦自治体(横浜市を含め6都市グループ)と海外都市が参加しました。

ワークショップでは、横浜市からバタム市との都市間連携に基づく市内企業の海外展開について発表を行いました。また、他自治体とJCMを活用した事例や事業形成の中での課題等を共有しました。



(ワークショップでの発表)



(参加者の皆さんで)



【カトマンズ市による歓迎式典の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 15 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ネパール地震復興支援第三次 派遣を行いました

平成 27 年 4 月にネパールで発生した地震によって、シティネット会員都市であるカトマンズ市では公共建築物、歴史的建築物など多くの建築物が被害を受けました。

横浜市はシティネット横浜プロジェクトオフィスと連携してカトマンズ市の復興のために建築物等に関する技術職員育成等を実施しています。(平成 28 年 6 月に震災復興支援のための覚書締結)

この一環として、本年 10 月 22 日～29 日に、建築局の技術職員等を現地に派遣し、カトマンズ市役所等の技術職員を対象とした研修（鉄骨造・木造等の構造、建築物に係る法令遵守の取組等）を行いました。



(模型等を使った構造に関する研修の様子)

ダナン市での廃棄物分別処理事業 について現地調査を実施しました

横浜市は、平成 28 年 5 月に JICA 草の根技術協力事業に、IGES（公益財団法人地球環境戦略機関）とともにベトナム・ダナン市での「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業～ヨコハマ G30/3R 夢の水平展開～」を提案し、採択案件として選定されています。

10 月 23 日～27 日に、国際局職員がダナン市を訪問し、事業の具体的な内容及び合意文書の調整を進めるとともに、最終処分場等の現地調査を実施しました。

また、本市はこれまでにダナン市と共同でダナン都市開発フォーラムを 4 回開催するとともに、平成 27 年度末に完成したダナン都市開発アクションプランの策定を支援しました。このアクションプランの推進について協議するため、ダナン市の関係部局と、次回のフォーラム開催（12 月下旬予定）について意見交換をしました。



(ダナン市との意見交換の様子)

バンコク都と技術協力に関する 覚書更新について協議しました

横浜市とバンコク都は、平成 25 年 10 月に締結した「持続可能な都市発展に向けた技術協力に関する覚書」に基づき、バンコク都気候変動マスタープランの策定支援（※）や、プランの具体化に向けた JCM 案件形成調査等の協力を進めてきました。

この覚書が 28 年度末に期限を迎えるため、国際局職員が、バンコク都外務局・環境局を訪問し、今後の技術協力や覚書更新に向けた協議を行いました。また、Y-PORT 事業の推進に向けて現地に進出して、市内企業等と意見交換を行いました。

※JICAが実施した「タイ国バンコク都気候変動マスタープラン（2013-2023）」の策定プロジェクトに、本市も 25 年度から協力し、27 年 7 月にマスタープランが完成しました。



(バンコク都との協議の様子)



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 17 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

孫文生誕 150 周年記念写真展が 開催されました

辛亥革命の父と呼ばれる人物、孫文の生誕 150 周年を迎えることを記念し、孫文の写真展が、横浜中華街で 10 月 24 日（月）～11 月 13 日（日）まで開催されました。写真展のオープニングに伴い、10 月 24 日に、上海市政治協商会議から張培基（ちょう・ばいき）常務副主任御一行が来浜され、渡辺副市長を表敬するとともに、開幕式に参加されました。

今回の写真展は、孫文の生涯を紹介しつつ、辛亥革命の途上、日本に滞在し、多くの日本人の支援を受けたことなどに光を当て、横浜と上海の友好関係と東アジアの民間交流促進の意義を込めて開催されました。

11 月 12 日、13 日には、中国伝統の獅子舞や二胡の生演奏、太極拳や合唱など、楽しいイベントも行われました。



（開幕式の様子）

横浜市と JICA 包括連携協定を 更新しました

平成 28 年 10 月 25 日、横浜市と JICA は、包括連携協定（平成 23 年 10 月締結）の有効期間が満了することを受け、当該協定を更新しました。

今回の更新により、アジア・アフリカ・中南米の 3 地域での連携をさらに強化するとともに、安全配慮に関する連携強化を目指しています。

詳しくはこちら↓
<http://www.city.yokohama.jp/news/press/201611/images/phpeHorKu.pdf>

外務省メルマガ「グローバル通信」にチーム横浜が紹介されました

8 月に開催された第 6 回アフリカ開発会議（TICADVI）に、林市長をトップとするチーム横浜がケニア・ナイロビを訪問したことについて、外務省地方連携推進室が配信するメールマガジン「グローバル通信」の 11 月号に掲載されました！

TICADVI への参加については、これまでも国際局の facebook やホームページでもご紹介していますが、今回の寄稿では、会議の

3 つのサイドイベントで林市長が英語で講演した様子やアフリカ各国首脳との面会について書かれており、さらにその舞台裏についても垣間見ることができます。是非ご覧ください！

掲載された「グローバル通信」11 月号はこちら↓

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000202288.pdf>

横浜市の寄稿文

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gai/ko/local/pdfs/yokohama1611.pdf>

※「グローバル通信」は、外務省と自治体が連携した施策の紹介や、日本各地で行われている国際的な取組を支援するメールマガジンです。外務省地方連携推進室より、地域の国際的取組や外務省が行う施策等に関する情報について、月 1 回発信されています。



（グローバル通信 詳しくは WEB で）

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 25 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-3826

ki-somu@city.yokohama.jp



【フィリピン女性企業家の皆さんと林市長 面会の様子】

フィリピン女性企業家の方々が 市長と面会しました

11月3日～8日に、フィリピンの女性起業家の方々が、横浜を訪問されました。

今回の訪問は、昨年9月に林市長がマニラを訪問したことが契機となったものです。

第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催連携事業である「横浜女性ネットワーク会議&横浜ウーマンビジネスフェスタ」へ参加されたほか、本市の女性起業家支援施策に関する視察や市内で活躍する女性起業家との意見交換などを行い、ノウハウや成功事例、課題等を共有しました。



(林市長との面会の様子)



アフガニスタン国・カブール市 長代理 平原副市長と面会

JICAの研修事業のために来日したアフガニスタン国・カブール

市長代理が11月10日、平原副市長と面会しました。

カブール市が現在策定している戦略プランの3本柱のひとつとして都市整備の推進があり、日本における取組を学ぶために来日し、横浜市においても都市整備の歴史や戦略についての研修を受けました。

カブール市長代理は、長年にわたり横浜の街づくりをリードしていらっしゃる平原副市長と面会し、横浜市との親交を深めるとともに、都市整備に関する意見等を直に伺うことによって、カブール市における都市整備事業の参考にしたいとのことでした。



(平原市長と面会の様子)



(研修の様子)

女性の活躍推進に取り組む弁護士、ケニアより来浜

横浜市は、平成25年に第5回アフリカ開発会議(TICADV)の開催地となって以来、日本とアフリカのビジネスウーマンの交流に取り組んでいます。今回、ケニアのナイロビで法律事務所を創設・経営するメアリー・チェゲ氏を横浜にお招きしました。

弁護士としてご活躍される一方、女性の活躍推進に取り組んでおられるチェゲ氏は、林市長と意見交換を深めたほか、「横浜女性ネットワーク会議&横浜ウーマンビジネスフェスタ2016」で、日本とアフリカの女性の連携を呼びかけるとともに横浜のビジネスウーマンの皆さま等と交流を深めました。チェゲ氏がケニアで地方債発行に関する法整備の研究に取り組んでいることから、市財政局財源課から横浜市債の仕組みや発行状況についてご説明しました。

(詳しくはこちら↓)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/exchange/20161111africawoman.html>



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 11 月 30 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-3826

ki-somu@city.yokohama.jp



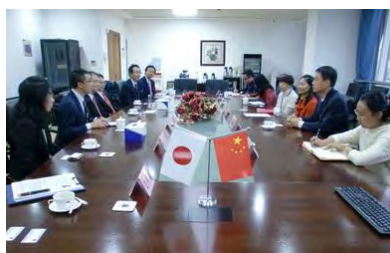
【上海政府職員の皆様、渡辺副市長・横浜市職員と】

上海市で開催された WHO 国際会議に副市長が参加しました

上海市で、11 月 21 日に「Global Mayor's Forum on Healthy Cities (健康的な都市に関する世界市長フォーラム)」が開催され、主催者である WHO (世界保健機関) と中華人民共和国から招請があり、渡辺副市長をはじめ、健康福祉局、国際局の職員が参加しました。

このフォーラムは、WHO と中国が「すべての人に健康を、健康を全力で促進する。」をスローガンに主催する「第 9 回健康づくり世界会議」の一環として開催されるもので、各国の取組を共有しながら、横浜市の「健康寿命日本一」に向けた取組について渡辺副市長が基調講演を行い、その成果を広くアピールしました。

また、このフォーラムの開催地である上海市は、提携 43 年目を迎えている横浜市の友好都市であり、上海市政府と今後の両市の連携の一層の強化に向けて意見交換を行いました。



(意見交換の様子)

星槎中学高校にてアフリカ・アジアブリッジが開催されました

11 月 12 日、13 日に、横浜市内にある星槎中学・高等学校にて「SEISA Africa・Asia Bridge 2016」が開催されました。

横浜市国際局も後援させていただいたこのイベントでは、アフリカ・アジアを「知る、繋がる」をコンセプトに、将来を担う若者をはじめ参加者の方々が、様々なプログラムを通じて、アフリカ・アジアの多彩な文化に触れただけでなく、講演やプレゼンテーションを通して、自分たちが世界に対してできることを考える場となりました。

記念セレモニーでは、日本アフリカ友好横浜市議員連盟の佐藤会長のあいさつに続き、社会貢献や世界平和に寄与する人材に成長するとの思いを込めて、生徒の代表から「SEISA Africa・Asia Bridge student 宣言」が関山国際局長に手渡されました。



(佐藤会長挨拶の様子)

レソト王国国王陛下・国王妃陛下が市内小学校を訪問しました

11 月 25 日にアフリカ南部に位置するレソト王国のレツィエ 3 世国王陛下及びマセナテ・モハト・セイソ同国王妃陛下が、横浜市立境木小学校 (戸塚区) を訪問し子どもたちと交流しました。

両陛下は、1 年生の 3 つのクラスをご覧になりました。その後、2～6 年生による歓迎セレモニーが行われ、レソトについて事前学習した児童たちが英語でスピーチしました。国王陛下は「歓迎いただき感謝しています。レソトについて学んでいる皆さんは、レソトの友だち、大使です。将来、ぜひレソトに来てください。」とお話になりました。

また、柏崎副市長、日本アフリカ友好横浜市議員連盟の佐藤会長が、境木小学校の大野校長とともに、両陛下の訪問を歓迎しました。柏崎副市長からは、レソトと横浜の交流が一層深まることを願っていますとの挨拶がありました。



(交流の様子)

Frankfurt



現地職員は横浜のシティプロモーション全般や事務所の広報・総務などを担当しています。マリア・ドイツさん（写真中央）は、約 7 年弱にわたりフランクフルト事務所を力強く支えてくれました。皆に惜しまれながら 11 月末で退職されます。そんなドイツさんから一言。「事務所の仕事を通じて、横浜についてたくさん学びました。また、この 7 年弱で、視察アテンド、都市間交流、観光 PR など、幅広くて面白い仕事ことができました。林市長や市会議員の先生方にお会いできたことは光栄でした。」ドイツさん、今まで本当にありがとうございました！

そして後任は、横浜港と姉妹港のハンブルク出身で、「日本語をもっと上手になって、横浜とフランクフルトの架け橋となれるよう一生懸命頑張りたい。」というサスキア・コルダツキさん（写真右）です。



<http://www.yokohama-city.de/jp/index.html> (フランクフルト事務所 HP)

Shanghai



勤続 14 年目になる張健（チョウ・ケン）さん（写真左）は、上海事務所の政策系業務の全てに携わっています。（ちなみに日本語も大変流暢で、斎藤所長に「私よりもうまいです」と言わしめるほど！）そんな張健さんから見た横浜の魅力は、ハイテク産業などが集積する一方、開放的で住みやすく、街中を走ると非常に気持ちが良いので、いつか横浜マラソンに出てみたいそうです。



上海事務所は、横浜と上海の友好都市事業をはじめ、教育交流、横浜企業の中国進出、販路開拓、中国企業の誘致、観光プロモーション、最近では環境・福祉など多方面において、横浜市との各局と連携を取りながら、事業を進めています。今後さらに事業を推進するうえで、張健さんから本市の事業担当に向けて、「中国にできるだけ頻繁に来てもらい、一緒に仕事ができると、もっと説得力ある業務ができると思いますし、自分自身もより深く横浜を理解し、業務の確度を上げていきたいです」と、アツク語っていただきました！



<http://www.idec.or.jp/shanghai/> (上海事務所 HP)

Mumbai



ダニカ・バルチャーさん（写真右）はムンバイ事務所設立準備時から勤務を始めて、今年で 2 年目になります。事務所業務の全般において所長を補佐しており、特にインドの行政機関や現地企業との折衝では大いに活躍して下さっています。そんなダニカさんが、横浜の好きなのは、「美しい海と外国文化を受け入れてきた開放的な点、そして歴史的なものと現代的なものが混在しているところ」だそうです。



また、ムンバイでおすすめのスポットは、市南部の海岸沿いの「マリンドライブ」。アラビア海に沈む夕日の雄大で美しい眺めと、「女王の首飾り」と呼ばれる街路灯がきらめく夜景が非常に魅力的です。ムンバイを訪れた際は、ぜひ立ち寄ってみてください！混雑した電車で長時間揺られながらの通勤が最近の悩み…とのことですが、それだけ発展していくムンバイのエネルギーを肌で感じているそうです。そんな成長著しいインドの活力を取り込み、市内経済の一層の活性化につなげていくため、ムンバイ事務所は所長と職員が力を合わせてがんばっていきます！



<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/exchange/office/20160223110755.html> (国際局 HP)



【カトマンズ市 CEO(左)、国際局長(中央)と建築局長(右)の面会】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 12 月 19 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ネパール・カトマンズ市 CEO が 建築局長・国際局長と面会しま した

横浜市とシティネット横浜プロジェクトオフィスは、平成 27 年 4 月にネパールで発生した地震を受け、シティネットの会員都市である同国の首都・カトマンズ市の復興のため、建築分野の技術職員育成支援等を行っています。

このたび、第 5 回アジア・スマートシティ会議に参加するため来日したカトマンズ市のルドラ・シン・タマン CEO (市最高経営責任者※市長相当) が 11 月 17 日 (木) に建築局を訪れ、坂和建築局長、関山国際局長のほか、これまで復興支援に携わってきた建築局職員などと面会しました。

面会後は建築局内の執務風景や、現市庁舎の免震装置、日本大通り近辺の歴史的な街並み、赤レンガ倉庫、みなとみらい地区などを視察しました。



(市長舎の免震装置の視察)

第 7 回アジア太平洋 3 R 推進フ ォーラムに参加しました

11 月 2 日 (火) ~ 4 日 (金) にオーストラリア・アデレード市において開催された、「第 7 回アジア太平洋 3 R 推進フォーラム」に本市資源循環局、国際局の職員が参加し、横浜の廃棄物処理行政の取組について発信しました。

このフォーラムは、国連地域開発センター、オーストラリア政府、日本政府環境省等の共催によるもので、約 40 の国の政府・諸都市の代表 300 人以上が参加しました。

本会議でのパネルディスカッションに参加し、本市が事業者や市民の方々と協働し、検討会などで意見交換を交わしながら、ごみの分別や環境に配慮した容器・包装の PR などに取り組んでいることについて発表しました。



(フォーラムの様子)

Y-PORT ワークショップを開催 しました！

新興国等における都市課題の解決支援と企業の海外展開の促進に向けて「第 17 回 Y-PORT ワークショップ」を開催しました。

今回のワークショップでは、新興国都市の開発事業における横浜市内企業の個々の技術・製品を組み合わせた都市ソリューション案について御紹介しました。また、この一環として、ベトナム国ダナン市・フィリピン国セブ市他で予定している現地調査についても御紹介しました。名刺交換会では講演者・参加者間で活発なネットワーキング・情報交換が行われました。

【ご参考】これまでの Y-PORT ワークショップについてはこちら↓
<http://www.city.yokohama.lg.jp/okusai/yport/yportworkshop.html>



(ワークショップの様子)

横浜市主催の国際会議「第 5 回アジア・スマートシティ会議」が 11 月 18 日に みなとみらいで開催されました



アジア新興国諸都市の市長や国際機関等の有識者が一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う本会議に、過去最多となる 46 都市から市長を始めとするリーダーや、日本政府、国際機関等の有識者も数多く参加しました。

会議では、4つの分科会で各都市のスマートシティの取組やプログラムについて、発表するとともに、各テーマに沿った専門的な議論を行いました。各分科会の議論を持ち寄った全体会議の結びでは、議論をとりまとめた「横浜宣言」が採択され、持続可能な都市づくりへ向けた連携強化に向けて参加者の合意が得られました。



世界銀行との連携

横浜市は、都市づくりに関して世界最大の援助機関である世界銀行（本部：米国・ワシントン D.C.）が進める「都市パートナーシッププログラム」を全国で初めて活用し、新興国における都市づくりに関する、世界銀行との協力・連携を開始しました。

これまで横浜市では、Y-PORT 事業を推進し、市内企業の海外展開支援や新興国の都市課題の解決支援を進めてきており、今回のプログラムを活用することで、市内企業による世界銀行事業への参入機会創出を図り、海外インフラビジネス展開を更に促進していきます。

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201611/20161116-047-24383.html>

この連携の具体的な取組として、11月17日に「第1回世界銀行スマートシティ会議」が横浜で開催され、国際局国際協力部長がスピーカーとして出席するとともに、翌18日に横浜市が開催した「第5回アジア・スマートシティ会議」において、世界銀行から、プレゼンテーションしていただきました。

アジア・インフラビジネスセミナー

横浜市と公益財団法人横浜企業経営支援財団 IDEC の主催でアジア・インフラビジネスセミナーが 11 月 17 日にみなとみらいで開催されました。

「第 5 回アジア・スマートシティ会議」の併催イベントとして開かれた本セミナーでは、ADB（アジア開発銀行）が進める、水分野の取組、本市との連携、官民連携に関する取組等について、ADB 各部門や海外都市の関



係者から発表があり、セミナー後の参加者の交流会では活発な意見交換が行われました。

横浜市では企業のインフラビジネスへの参入機会の拡大に向けて ADB との連携を深めており、来年 5 月の横浜での ADB 総会開催を見据え、今後も ADB と様々な取り組みを進めてまいります。



市内インフラ施設の視察

横浜市が主催した「第 5 回アジア・スマートシティ会議」の一環として、11 月 16 日に会議参加者が市内のインフラ視察ツアーに参加しました。ツアーでは、鶴見区の北部下水道センターとごみ焼却工場、旭区の川井浄水場を紹介しました。



下水処理水でコイを飼育できるほどの浄化処理技術や、ごみの焼却熱で発電する高度な技術、最新鋭のろ過装置を通して出来上がる横浜の高品質な水づくりを見学し、参加者からは驚きの声があがるとともに、熱心に質問が寄せられました。

高校生のボランティア参加

会議には「世界を目指す若者応援事業」を利用して 1 年間の海外留学を経験した市内高校生も参加し、分科会のサマリー作成や資料の配付などを行いました。慣れない国際会議への参加に、緊張しながらも真剣に取り組んだ生徒たち。今後の活躍に期待しています。



- ◆これまでのアジア・スマートシティ会議の取組についてはこちら⇒<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/ascc/>
- ◆「第 4 回アジア・スマートシティ会議宣言（横浜宣言）」を受け、持続可能な都市開発に向けた知見を共有するプラットフォームとして、「アジア・スマートシティ・アライアンス」が発足し、現在 Facebook ページ（※英語のみ）を通じて知見の共有を進めています。⇒<https://www.facebook.com/AsiaSmartCityAlliance/>

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 12 月 26 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【アディスアベバ市のカイゼン機構の皆さんと】

エチオピア連邦民主共和国アディスアベバ市一行が来浜しました

11月30日に、エチオピア連邦民主共和国アディスアベバ市のカイゼン機構所長をはじめとするメンバーが横浜市を訪問しました。一行は、公共サービスや人材育成、中小企業支援等の分野も対象に、現地で適用可能な「カイゼン（＝改善）」について理解を深めるために市内企業を視察しました。また、横浜市経済局から横浜経済の特徴や中小企業支援を含む産業政策についてのプレゼンテーションを行ったほか、国際局長との面会も行われました。

※アディスアベバ市はエチオピアの首都であり、アフリカ連合の本部が設置されるなど、アフリカ地域の外交の中心地のひとつです。



(プレゼンテーションの様子)



(国際局長とカイゼン機構所長)

都市間国際協力管理プログラムに国際局職員が参加しました

12月5日～9日に、上海にて開催された、「2016年アジア・オセアニア地域における都市間国際協力管理プログラム」に、上海市から横浜市へ参加要請があり、国際局から国際政策部担当部長が参加しました。

2013年から上海市が主催している本プログラムは今年4回目を迎え、アジア・オセアニアの各都市における経済や社会発展の促進を目的として、都市間交流を積極的に推進しています。

今回は「健康・医療」をテーマに6か国の自治体が参加し、各都市の取組を共有するとともに、横浜市の国際政策等について広くアピールしました。



(プログラムの様子)

フィリピンでシティネット実行委員会に出席しました

11月23日～24日にかけて、フィリピン共和国マカティ市においてアジア太平洋都市間協力ネットワーク（シティネット）の第34回実行委員会が開催され、国際局職員が出席しました。委員会では、各分科会や各都市から今年の活動内容について報告し、来年以降の活動について議論を行いました。

また、11月26日～29日にかけては、総務局職員、消防局職員、国際局職員が同国のイロイロ市を訪問し、防災力強化のための研修を実施しました。研修では、イロイロ市の防災・救急医療関係者等を対象に、大型台風を想定した災害対策本部図上訓練や、救急搬送訓練等を行い、参加者からは多くの気づきや学びが得られたとの反響がありました。



(救急搬送訓練の様子)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 12 月 28 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-3826

ki-somu@city.yokohama.jp



【林市長とベトナム女性連合の皆さんとの面会の様子】

国際女性会議 WAW! に向けた安倍総理主催夕食会に林市長が出席しました

12 月 13 日及び 14 日に日本政府が主催する国際女性会議「WAW! 2016」のキックオフ行事の一つとして、安倍総理が会議登壇者等を招き開催した夕食会に、林市長が参加しました。

総理を交えて和やかな雰囲気の中で、男女共同参画の取組について出席者の中で活発な意見交換が行われました。

夕食会の様子は外務省のホームページでも掲載されました↓
http://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page4_002582.html



「国際女性会議 WAW! 2016」に林市長が登壇しました

外務省主催の「国際女性会議 WAW! 2016」において、林市長が 14 日のオープニング・セッションで登壇し、女性活躍に向けたメッセージを発信しました。

パネリストとして参加したハイレベル・ラウンドテーブルでは、世界各国から集まったリーダーの

方々と「女性のリーダーシップの推進」に向けた課題を共有し、方策について議論しました。

林市長は、市長として、また、初めての女性社長となった 4 つの企業での経験を踏まえ、職員・社員の意識改革・育成を含めて具体的な取組事例を紹介しつつ、リーダーが率先して主導していくことの重要性を発信しました。

※「WAW!」は World Assembly for Women の略称で、2014 年にスタートしました。世界の地域・国際機関から女性の分野で活躍するトップ・リーダーが参加し、女性の活躍促進のための取組について議論を行っています。

本件については外務省のホームページでも掲載されています↓

http://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page3_001925.html



(林市長 登壇の様子)

ベトナム女性連合総裁が林市長と面会しました

12 月 14 日に、自治体や企業等との意見交換を目的に来日した、ベトナム女性連合（※）総裁のグエン・ティ・トゥ・ハ総裁と林市長が面会し、女性活躍のための横浜市の取組を発信、意見交換を行いました。

林市長は、「横浜市は、女性の活躍支援に力を入れています。ベトナムは女性の労働力率が高く、女性活躍が進んでおり、ベトナム女性連合はそうしたベトナムの女性活躍をけん引する存在です。アジアにおける女性の活躍推進を目指して、ともに進めていけたら幸いです。」と述べました。

※ベトナム共産党下の大衆組織。1930 年設立。全国に 1,000 万人以上の会員がいます。

ジェンダーの公平性の確保、女性・子供の権利の保護等、女性の地位向上に向けた取組を推進しています。



(意見交換の様子)



【「イスラエル・テルアビブのイノベーション」にて】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 5 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

2017 年は姉妹都市提携が「イ」 と 60 周年、コンスタツァと 40 周年！

2017（平成 29）年は、横浜とサンディエゴ（米国）との姉妹都市提携 60 周年、コンスタンツァ（ルーマニア）との姉妹都市提携 40 周年の記念となる年です。

横浜市は、友好委員会をはじめとする市民の皆様と連携し、市民交流など様々な分野で記念事業を展開して、「ともに成長するパートナー」として互いの更なる発展につなげていきます。

現在、国際局のホームページで、サンディエゴ、コンスタンツァとの周年記念イベントのお知らせを随時更新しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ko-kusai/exchange/20160830121210.htm>



横浜サンディエゴ友好委員会の懇親会が開催されました

12 月 14 日（水）に横浜サンディエゴ友好委員会の懇親会が開催されました。

今回はゲストとして、サンディエゴの高校と姉妹校提携を結んでいる、金沢高校の生徒の方にもご出席いただきました。姉妹校交流のお話を通じて、国境を越えて結ばれた若い世代の絆を感じる事ができました。



（懇親会の様子）



（金沢高校の生徒の皆さん）

「イスラエル・テルアビブのイノベーション」を開催しました

12 月 16 日、イスラエル、テルアビブのスタートアップ（起業）やイノベーション（技術革新）の活況を紹介するセミナー「イスラエル・テルアビブのイノベーション」を横浜市内で行い、約 100 名が参加しました。

今回のセミナーでは、イスラエルのビジネスに詳しい専門家の講演のほか、今年 9 月にイスラエル政府の招へいプログラムで同国を訪問した横浜代表団（企業、経済機関、大学関係者、市職員）の皆さんがパネルディスカッションに登壇し、活気あふれる現地の状況について紹介しました。



（国際局長挨拶の様子）



（ネットワーキングの様子）

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 16 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【ブルキナファソナショナルデー記念式典の様子】

ブルキナファソナショナルデー 記念式典が開催されました

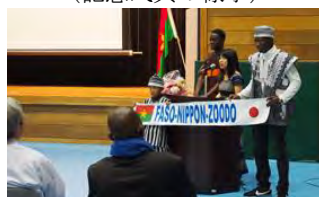
12 月 1 日～27 日まで、ブルキナファソナショナルデー記念プログラム 2016 が、JICA 横浜国際センターで行われ、12 月 11 日には記念式典が開催されました。

記念式典には、約 150 人が出席し、フランソワ・ウビダ大使による講演会や、ブルキナファソの伝統音楽、ファッションショー、星槎中学校・高等学校生徒によるブルキナファソの歌の合唱など、ブルキナファソの様々な文化について理解を深めました。

梶村横浜市長、渡辺副市長、日本アフリカ友好横浜市議員連盟の佐藤会長から、お祝いの挨拶があり、同連盟の草間事務局長からは、昨年 11 月に訪問したブルキナファソの視察報告がありました。



(記念式典の様子)



TICAD フォローアップセミナー を開催しました

12 月 19 日に、JICA 横浜国際センターと JETRO、横浜市の共催で TICAD (アフリカ開発会議) フォローアップセミナーを開催しました。

このセミナーは、8 月に TICADVI がケニア・ナイロビで開催されたことを受けたもので、JICA、JETRO、株式会社サカタのタネ、横浜市立大学、市民ネットワーク for TICAD 及び横浜市が参加し、TICADVI の成果の確認のほか、アフリカでの取組などについて意見交換を行いました。

横浜市の関山国際局長が「本日のセミナーを契機に、皆様との意見交換をさらに深め、アフリカとの交流・協力を、横浜から一層力強く進めていきたいと思っております。」と挨拶し、また、荒木担当部長が水道・港湾技術協力など横浜市のアフリカ事業について紹介しました。



(セミナーの様子)

天皇誕生日祝賀会がリヨンで 開催されました

12 月 12 日、フランスのリヨンで在リヨン領事事務所主催による天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。

リヨンは横浜市の姉妹都市でもあるため、同領事事務所並びに自治体国際化協会(クレア)パリ事務所ご協力のもと、横浜の観光資料や絵葉書などをレセプションに参加された皆さんにお渡しし、横浜の魅力を知っていただきました。

同レセプションには、仏日関係者 500 人弱もの方々が参加され、来年横浜で開催されるヨコハマトリエンナーレ 2017 などに、大きな関心が寄せられました。



(レセプションの様子)



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 24 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【ケニアのソロモン・K・マイナ駐日大使による講演】

駐日ケニア大使が横浜市立大学 で講演しました

横浜市立大学は、グローバルな視野を持って活躍する人材の育成を目的に、毎年、各国の大使など国際的に活躍する方々をお招きして、各国の動向や日本との関わりなど、グローバルな視点から英語で語っていただく講演会を開催しています。

12月20日に、ケニア共和国のソロモン・K・マイナ駐日大使をお招きして、ご講演いただきました。2016年の8月には、ケニアの首都であるナイロビで、第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）が開催され、開発に向けた優先分野などを表明したナイロビ宣言が採択されました。

日本とケニアの友好関係構築に尽力されているマイナ大使に、TICAD VIのプロセスについて、また、ケニアの魅力について講演いただきました。

※横浜市立大学の HP

↓ <http://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/education/20161220kenya.html>



(マイナ大使(中央)を囲んで)

市立金沢小学校で姉妹都市サン ディエゴについて出前授業を行 いました！

1月19日に、横浜サンディエゴ友好委員会が、横浜市立金沢小学校を訪問し、横浜市とサンディエゴの姉妹都市交流について、出前授業を行いました。

横浜市が姉妹都市をはじめとした海外諸都市と取り組む国際交流の様子や、今年、横浜市と姉妹都市提携60周年を迎えるサンディエゴについて、クイズを取り入れながら楽しく学べる授業となりました。

児童の皆さんからは活発な発言や質問が寄せられ、出前授業を受けて、「サンディエゴに行ってみた」という声も挙がりました。

※金沢小学校は、サンディエゴの「バーナード初等アジア太平洋ランゲージ アカデミー」とパートナー校提携を結んでいます。



(出前授業の様子)

ベトナム・ハノイ市への下水道 技術協力事業の報告を行いました

横浜市は JICA 横浜と連携し、JICA 草の根技術協力事業によるベトナム国ハノイ市の下水道事業への支援を、約3年間にわたり実施してきました。昨年12月21日に開催した Closing Seminar をもって、本事業は無事、終了しました。

横浜市環境創造局、及び横浜水ビジネス協議会会員企業は、平成25年から、ハノイ市における下水処理場の効率的な運転維持管理や、汚泥処理、浸水被害の対策に関する能力開発等について、技術協力を実施してきました。

今回の現地クロージングセミナーでは、これまでの取組みや成果報告とともに、ハノイ市の下水問題の解決に役立つ、わが国の先進技術を紹介しました。



(クロージングセミナーの様子)



【家庭系廃棄物分別促進モデル事業合意文書への署名式の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 27 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ベトナム・ダナン市で都市開発 フォーラムを実施しました

12月23日に、第5回ダナン都市開発フォーラムをダナン市において開催しました。

横浜市とダナン市は、JICAの支援のもと、過去4回のフォーラムを通じて、ダナン市の持続可能な都市発展に向けたアクションプランを策定しました。

今回のフォーラムでは、このアクションプランの実現に向けて、関山国際局長が講演を行い、横浜市とダナン市、市内企業をはじめとした12社、世界銀行、JICAを交えて活発な議論が交わされました。ダナン市長への表敬訪問では、今後の2都市間の連携について意見交換を行いました。

参加企業は、ダナン市高官との面会や現場視察（漁業や水産加工業の拠点開発、鉄道移設に伴う再開発、建築物の省エネ）を通じて、ビジネス展開の可能性を探る機会となりました。

Y-PORT 事業では、今回のダナン市に続き、フィリピン国セブ都市圏等において、現地調査及びビジネスマッチング第2弾を実施します。



JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書に署名しました

12月23日に開催された第5回ダナン都市開発フォーラムにおいて、横浜市、ダナン市、IGES、JICAの4者による、JICA草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書への署名式が行われ、横浜市からは、資源循環局長が署名を行いました。

ダナン市においては、急増するごみ量と廃棄物最終処分場の不足への対応が課題となっており、この事業を通じて、横浜市がこれまで培ってきた、ごみの分別の仕組み作りや広報・啓発のノウハウを提供しながら、ダナン市民によるごみの分別とリサイクル技術の促進を図っていきます。

また、廃棄物関連の市内企業を現地に派遣し、廃棄物の収集・運搬やリサイクル技術等をPRしていただくことを契機に、市内企業による海外ビジネス展開を後押ししていきます。



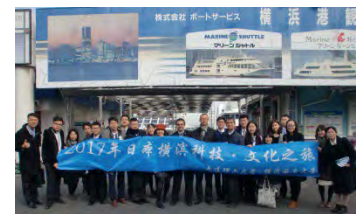
（廃棄物最終処分場 視察の様子）

大連理工大学横浜研修団が横浜を訪問しました

1月19日に、横浜国立大学の招聘で来日している、中国の大連理工大学横浜研修団の皆さまが横浜市を訪問しました。

今回は3回目となる来浜で、大連理工大学の特別コースで、専門課程を日本語で学んでいる学生の皆さんをお迎えし、観光船マリンシャトルで横浜港を視察していただきました。

国際局の国際政策部担当部長からの歓迎挨拶に続き、港湾局の職員から、横浜港と友好港提携を行っている大連港と、職員の相互派遣を通じて、港湾整備、経営等に関する技術やノウハウの交流を深めていること、港の概要について説明がありました。



（研修団のみなさん）



（横浜市職員より説明）

羽ばたけ国際人 2017
外国人留学生による日本語スピーチコンテスト
外国人留学生による日本語KARAOKE大会(決選大会)
一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会 横浜支部



【外国人留学生による日本語スピーチコンテスト】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 31 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

外国人留学生のスピーチコンテストが開催されました

1/25(水)に神奈川県立青少年センターにて、外国人留学生のスピーチコンテストが開催され、県内11の専門学校から、9つの国・地域の留学生18名が出場しました。

留学生は日頃、日本の文化や生活習慣等に直接触れて感じたことや、直面する課題や主張、将来の夢などを含め、様々な事柄を、日本語でスピーチしました。

コンテストを後援した横浜市からは国際局長が審査委員長として出席し、コンテストで見事1位に選ばれた中国出身の董嘉琪（トウカキ）さんに横浜市長賞が授与されました。

スピーチを聴いた市民の方達にとって、多様な国の様々な価値観や共通する考え方にも触れることで、自国の文化を再認識すると同時に、他国の文化への理解が深まる機会となりました。



(国際局長から横浜市長賞の授与)

JCM 案件形成可能性調査の最終ワークショップに出席しました

温室効果ガスの削減を目的とした、環境省 JCM（二国間クレジット制度）案件形成調査の最終ワークショップがインドネシアのバタムで開催され、国際局職員が参加しました。

ワークショップでは、省エネ技術を有する市内中小企業のアイフォーク東京株式会社（神奈川区）と株式会社ファインテック（緑区）が各々の調査成果を、本市と都市間協力を進めるバタム市および現地のインフラを所管するBIFZA（バタムフリーズン監督庁）に報告し、来年度の事業化に向けた協議を行いました。

また、上記市内企業を含めた本邦企業6社が、バタムの下水処理場や廃棄物最終処分地等を調査し、新たな案件発掘を行いました。

バタム市及び BIFZA 長官の表敬では、更なる都市間協力や幅広いインフラ分野での連携強化について積極的な意向が示されました。



環境省主催のセミナーで横浜市の取組を発信しました

1/23（月）に開催された環境省主催の都市間連携セミナーに、国際局、港湾局職員が参加しました。

環境省では JCM（二国間クレジット制度）を推進しており、横浜市は Y-PORT 事業においてこの制度を活用して市内企業の海外展開支援をしています。

セミナーでは、Y-PORT 事業の取組、バンコク港などのタイの港湾での低炭素化・スマート化を支援する取組みについて国際局と港湾局が発表しました。横浜市は、タイ港湾庁とパートナーシップ協定を締結しており、横浜港埠頭株式会社と連携してこうした技術協力にも貢献しています。

国内外から多くの自治体関係者が参加する中で、横浜市は国際事業を専門とする国際局、事業局である港湾局が連携し、一体となって取り組んでいることについて評価する声が寄せられました。





ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 6 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

林市長が駐日コートジボワール大使と面会しました

1 月 24 日、コートジボワール共和国のジェローム・クロウ・ウェア特命全権大使が横浜市を訪問し、林市長と面会しました。

面会では、日仏両政府がコートジボワールの港湾都市アビジャンを対象に進めているプロジェクトに、横浜市が協力していることや、過去 2 回アフリカ開発会議（TICAD）が横浜で開催され、第 7 回の誘致にも力を入れていることに触れ、横浜とコートジボワール・アビジャンとの連携強化について、意見交換を行いました。

面会の様子（国際局HP）↓
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ko-kusai/exchange/cotedivoire170124.html>



（面会の様子）

南アフリカ州議会の議員団が来浜しました

南アフリカ共和国・ハウテン州議会（日本の県議会に相当）の議員団が、1 月 24 日に横浜市を訪問しました。

梶村市会議長、佐藤日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長が来浜を歓迎し、意見交換を行ったほか、関山国際局長との面会では、アフリカ開発会議（TICAD）開催をはじめとした横浜とアフリカとの様々な繋がりなどをご紹介します。

また、政策局・議会局から、横浜市の中期 4 カ年計画、市会の運営や広報について説明を受けるとともに、議場を見学されました。

※ハウテン州について
南アフリカ共和国の北東部に位置し、州都はヨハネスブルグ。面積は全国土の 1.4% で最小であるが、政治の中心であるプレトリアと経済の中心であるヨハネスブルグを擁しており、経済規模は全州の中で 1 位。



（南アフリカ州議員団の皆さんと）

日中友好正常化 45 周年を記念して中国人デザイナーの個展が開催されました

1 月 20 日～23 日に磯子区の杉田劇場にて、日中国交正常化 45 周年事業として、中国人デザイナー馬 蕊（マリー）氏の個展が開催されました。

同氏は日本への留学経験もあり、現在 MARY KHOO のブランドを立ち上げ、デザイナーとして活躍しており、会場ではイラストやエプロンなどの作品が展示されました。

横浜市が後援した同展のオープニングセレモニーでは、小林磯子区長からの挨拶のほか、中国の歌のミニコンサートが開かれ、多くの人で賑わいました。





【よこはま国際フォーラムにて アフリカ事業を紹介】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 13 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

TICAD 関連セミナーで国際局長 がアフリカ事業を紹介しました

2月5日に、JICA 横浜で開催された「よこはま国際フォーラム 2017」で、アフリカ開発会議

(TICAD)に関するセミナーが行われ、横浜市の関山誠国際局長がパネリストとして出席しました。

このセミナーは、市民ネットワーク for TICAD と特定非営利活動法人横浜 NGO 連絡会の主催によるもので、「次の TICAD は 2 年後～ TICAD VI の約束にどう取り組み、TICAD VII にどうつなげる」をテーマに、関山局長のほか、フランソワ・ウビダ 駐日ブルキナファソ特命全権大使、望月寿信 外務省アフリカ部アフリカ第二課地域調整官、稲場雅紀 市民ネットワーク for TICAD 世話人が出席し、意見交換が行われました。



「お笑いジャーナリスト」と 「横浜市の外交官」がアフリ カ・トークを展開！

2月4日に JICA 横浜で開催された「よこはま国際フォーラム 2017」で、お嬢様キャラの芸風で活躍されている、お笑い芸人・

ジャーナリストの、たかまつななさん（市内フェリス女学院出身）と横浜市の 荒木要 国際局担当部長が、アフリカについて語り合いました。

このトークイベントは 2 月 4 日に 2 回に渡って開催され、たかまつななさんは、JICA の「なんとかしなきゃ！プロジェクト」で訪問したマダガスカルでの驚きの体験を披露。それまで持っていたアフリカのイメージとのギャップなども紹介しました。

また、荒木部長は、横浜市の第 4 回と第 5 回アフリカ開発会議の開催都市としての実績を紹介。横浜市が行うアフリカへの技術協力、そしてアフリカへ進出している市内企業の事例など話は広がりました。

たかまつさんと荒木部長のトークで会場は笑いに包まれ楽しい雰囲気になり、大盛況のイベントとなりました。



(トークイベントの様子)

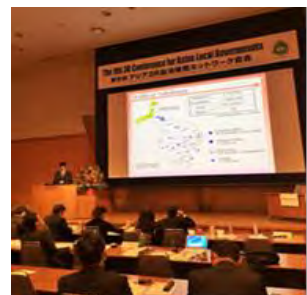
第 9 回アジア 3 R 自治体間ネット ワーク会合に参加しました

1 月 31 日に浜松市で開催された「第 9 回アジア 3 R 自治体間ネットワーク会合」には、廃棄物の 3 R 推進に携わる日本やアジアの自治体関係者、民間企業が参集し、横浜市からは資源循環局、国際局の職員が参加しました。

会合では、「3 R の都市間連携事業と将来展望」をテーマに、3 R 推進に向けた横浜市内および海外での取組についてプレゼンし、参加者と意見交換を行いました。

また、本市と技術協力の覚書を結んでいるベトナム・ダナン市、タイ・バンコク都も参加しており、ダナン市から本市との廃棄物分野での協力について紹介されました。

私たちが日々行う 3 R の取組が、海外のごみ問題の解決に貢献することへの期待が高まっています。



(ネットワーク会合の様子)



【ヨシペル駐日ルーマニア大使 茶道体験の様子 三溪園にて】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 17 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

駐日ルーマニア大使が林市長と 面会しました

2 月 13 日に、ヨシペル駐日ルーマニア大使が林市長と面会し、今年（2017 年）、姉妹都市提携 40 周年を迎えた、横浜市とルーマニアの港湾都市コンスタンツァ市との交流について意見交換を行いました。

林市長からは、「姉妹都市提携 40 周年を契機に、横浜においてもコンスタンツァとの姉妹都市交流を広く発信するなど、両市の関係を一層深めていきたい。」とのコメントがありました。



(林市長とヨシペル大使)



(横浜港の視察の様子)

NHK WORLD TV で横浜市国際局の 取組が紹介されました

横浜市は、開港以来、海外諸都市・機関等とのネットワークを築き、「世界とともに成長する横浜」の実現を目指すとともに、様々な国際協力事業を推進しています。こうした本市の取組が、NHK WORLD TV の番組で海外に向けて紹介されました。

番組では、新興国等の都市課題解決の支援と横浜市にある企業の海外展開支援を目的とした Y-PORT 事業の取り組みに着目しています。2016 年 11 月に横浜市で開催された「第五回アジア・スマートシティ会議」と、12 月下旬にベトナム・ダナン市で開催された「ダナン都市開発フォーラム」を中心に、横浜市の担当者、アジア新興国の関係者、横浜市から進出している企業担当者などに密着取材し、新たな国際協力の在り方を描いています。

■番組名：Urban Smart Solutions for Asia FutureCity Yokohama Shares Its Expertise

■放送局：NHK WORLD TV（NHK 国際放送 / 英語放送）

■放映：海外では 2 月 16 日、17 日に放送されました。日本国内でも、2 月 20 日から以下のウェブサイト（英語）で視聴可能です。

https://www.jibtv.com/programs/urban_smart_solutions_for_asia/

日本語教育推進国会議員連盟 総会で横浜市の日本語学習支 援の取組を紹介しました

日本語教育の法制化を目指す超党派の国会議員により設立された、日本語教育推進国会議員連盟の第 4 回総会が衆議院第 1 議員会館で開催され、外国人が集住する自治体として横浜市が出席しました。

自治体へのヒアリングでは、国際局の赤岡副局長が、本市が取組む在住外国人に向けた草の根レベルでの日本語学習支援や、教育現場における外国籍等の子どもへの対応、また、「やさしい日本語」による情報発信などを紹介しました。

質疑応答では、各議員から、日本語学習支援の現場の状況や、外国人児童とその保護者への対応などについて積極的に質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。





【デリーでの対日投資セミナーの様子】 ©JETRO

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 22 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ムンバイ事務所がデリーでの対日投資セミナーに参加しました

日本への投資、進出に関心を持つインド企業・団体 100 名以上が参加した JETRO（日本貿易振興機構）主催の対日投資セミナーが 2 月 7 日デリーで開催され、本市からは山本ムンバイ事務所長が参加しました。

セミナーでは、基調講演に続き、日本に進出しているインド企業 2 社（IT、自動車部品）と、日本の自治体として横浜市と大阪府がプレゼンテーションを行いました。

山本所長から、ビジネスにおける横浜の魅力を発信し、インド企業に対して横浜進出を働きかけました。

セミナー後のネットワーキング会場の自治体 PR コーナーでは、日本への進出を検討しているインド企業から横浜のビジネス環境について積極的な質問が寄せられ、誘致の可能性を高める良い機会となりました。



（横浜の PR コーナーの様子）

ザンビアの子ども達へ靴を贈ろう！そごう横浜店で「こども靴贈与式」が行われました

株式会社そごう・西武は、全国の店舗で下取りしたこども靴をアフリカのザンビアへ贈る取組を（公財）ジョイセフを通じて実施しています。

今回、この取組に賛同した公益社団法人横浜市幼稚園協会との CSR 活動連携のスタートとして、そごう横浜店で「こども靴贈与式」（主催：株式会社そごう・西武そごう横浜店 共催：公益社団法人横浜市幼稚園協会 後援：横浜市こども青少年局）が平成 29 年 1 月 24 日に行われました。

当日は、横浜市幼稚園協会に加盟する、ばらの幼稚園（横浜市西区）の園児 21 名が出席し、自分たちが持ち寄ったこども靴を石井澄江ジョイセフ代表理事に手渡すと、石井代表理事からは、「お預かりした靴は、ザンビアの子ども達が寄生虫や破傷風から自分の健康を守る貴重な靴」になるとの話がありました。

今回の贈与式をきっかけに、ザンビアへの子ども靴の支援の取組が一層広まることが期待されます。



市内の聖光学院の皆さんが国際局を訪問しました

2 月 15 日に、市内の聖光学院の皆さん（中 3、高 1）を国際局にお迎えしました。国際局職員から、本市の国際事業の取組内容や課題について紹介した後、多文化共生施策を中心に、学生ならではの視点で多くの質問の手が挙がり、国際局会議室が生徒たちの熱気であふれました。



ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 2 月 28 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【市内中小企業がセブで建設中の廃プラスチックリサイクル施設】

ペルー共和国の第一副大統領 が臨港パークの「リマちゃん 像」を訪問しました

外務省の招へいプログラムで来日中のペルー共和国のマルティン・ビスカラ第一副大統領兼運輸通信大臣が、2月18日に臨港パークにある、リマちゃん像を訪問しました。

リマちゃん像の横には「リマちゃんと握手 HOLA AMIGOS！こんにちは アミーゴス」と書かれており、訪れたマルティン・ビスカラ第一副大統領も、笑顔でリマちゃんと握手を交わしました。

※リマちゃん像

1899年、日本人移民790人を乗せた第1回移住船が横浜港からペルーに出港し、ひと月余りの船旅を経て、カヤオ港に到着しました。移住100周年にあたる1999年に、臨港パークに、記念石像の「リマちゃん」が設置されました。

なお、リマ市のペルー日本人協会入り口には、移住50周年を記念し、千羽鶴を首にかけて、リマちゃんと同じポーズで右手を差し出している「さくらちゃん」という石像が設置されています。



インターンシップで来浜した台湾人学生が林市長と面会しました

横浜の企業で約1か月のインターンシップを経験した台湾の学生5名が、2月16日に、林市長と面会をしました。

昨年10月に市長が台北を訪問した際、日本でのインターンシップ事業に参加する学生向けに講演を行ったことを受け、今回の横浜企業研修に参加した学生から修了報告と、研修で体験したことや苦労したこと等について意見交換が行われました。

※インターンシップ受入事業

公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC）が窓口となって、2005年から台湾貿易センター（TAITRA）と提携し、経済交流の一環として、横浜市内企業へのインターンシップ受入を実施しています。

これまで延べ200社以上の企業が、約240名の台湾学生を受け入れており、多くの卒業生が台湾経済を支える大手企業や日系企業で活躍しています。



(面会の様子)

メトロセブにてビジネスマッチングセミナーを開催しました

アジアのリゾート地として有名なセブを擁するフィリピンのセブ都市圏（メトロセブ）では、急速な経済発展と人口増加によって、廃棄物処理や上下水道の整備をはじめとした都市課題を抱えています。

横浜市はセブ市と平成24年3月に覚書を締結し、都市課題解決の支援と市内企業の海外展開を支援するY-PORT事業に取り組んでおり、本年2月にセブにおいてアジア開発銀行の参加のもと、ビジネスマッチングセミナーを行いました。

同セミナーには、本邦から市内企業を中心に14社、またメトロセブ内の都市、現地の商工会議所、現地企業等からは約60名が参加し、廃棄物管理、建物の省エネ、渋滞対策といった現地の環境課題が議論されました。また、それらの解決に向けたADBやJICAの資金スキームや企業からの支援策などについて積極的な情報共有が行われました。



(現地合同調査の様子)

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 9 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【セミナーでのネットワーキングの様子】

ベトナム・ダナン港の開発計画 調査への協力を実施しました

横浜市では、平成 25 年 4 月からベトナム国ダナン市と都市間技術協力を進めており、経済産業省が実施する、ベトナム国「ダナン港（リエンチュウ地区）開発計画調査」に協力し、本市の技術・知見の活用を進めています。

現在、ダナンの港は経済発展に伴う貨物需要の増加とクルーズ客船の増加により、ターミナルの混雑が続いていることから新たな港湾開発の必要性が高まっており、中央政府とダナン市が開発に向けた協議を進めています。

本市は、コンテナ貨物の増加や船の大型化、大型客船の増加等に対応するため、国や企業と協力し環境にも配慮した現在の横浜港に発展させてきました。

2 月に行われた今回の調査においては、国際局、港湾局の職員を派遣し、ダナン港の開発計画策定に向け、横浜市のこうした経験やノウハウを活かして、現地の政府・自治体関係者との協議を進めました。



韓国・慶尚南道の皆様が横浜の福祉関連施設を訪問しました

2 月 23 日に韓国・慶尚南道の道議員と職員の方々が横浜市を訪問しました。

近年、韓国では高齢者や児童、障害者などの福祉向上のため法律の整備や各種支援など様々な取組をしており、早くから体制整備に取り組んでいる日本の状況と今後の見通しなどについて関心が高まっています。

一行は、本市の高齢者福祉政策や自立支援政策について本市職員と意見交換をするとともに、福祉関連施設を視察し、施設運営等について積極的に質問をされました。

今回の訪問対応にあたっては、ソウル特別市から本市に派遣されているイム・ハンスクさんに通訳としてご活躍いただきました。



ロンドンで横浜市国際戦略を 紹介しました

クレア（自治体国際化協会）ロンドン事務所が主催するセミナーが、3 月 3 日ロンドンで開催され、フランクフルト事務所長が、横浜市国際戦略（※）やフランクフルト事務所の活動を紹介するプレゼンテーションを行いました。

セミナーには英国の地方自治体関係者や企業など約 50 名が参加し、横浜のブランド力強化や企業誘致の取組に大きな関心が寄せられました。セミナー後のネットワーキングでは、参加者と様々な情報交換を行い、本市の取組を詳しく知っていただく良い機会となりました。



（セミナーの様子）

※28 年 2 月に、本市の国際事業を戦略的に展開し、横浜の成長につなげていくために全庁的に共有すべき考え方を定めた「横浜市国際戦略」を策定しました。（国際局 HP）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/about/guideline/>



【市営地下鉄の車両基地を視察するコートジボワール代表団の皆さん】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 16 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

台中市長が渡辺副市長と面会を しました

3月7日、台湾・台中市の林佳龍（りん・かりゅう）市長一行が渡辺副市長と面会し、台湾および台中市との交流について意見交換を行いました。

台中市は、本市が主導的な役割を果たしているシティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）に加盟していることや、一昨年、柏崎副市長が訪台した際、林（りん）市長と面会するなど、交流を深めています。

台中市は近年クルージングに力を入れており、面会後は大さん橋の視察を行いました。

港湾局の職員からは、横浜港の特徴や利便性、大さん橋国際客船ターミナルの機能と施設の概要などについて説明しました。



（林佳龍市長と渡辺副市長）

コートジボワール鉄道管理公社 総裁が横浜を訪問しました

西アフリカ・コートジボワールの鉄道管理公社総裁をはじめインフラ分野の代表団5名が、日本のインフラ技術を学ぶため来日し、3月1、2日に横浜を訪れました。

本市は、コートジボワール最大の都市アビジャンの都市開発を日仏両国の協力で進めるプロジェクトに積極的に協力しています。

渡辺副市長は、「横浜は、人口急増に伴うインフラ不足や環境問題などを乗り越え成長を続けてきました。こうした経験・ノウハウを活かして、コートジボワールのインフラ開発に貢献できれば嬉しい」と挨拶しました。

代表団は、市営地下鉄の運行管理・保守の現場や、大さん橋客船ターミナル、横浜シーサイドラインを視察しました。



（代表団と渡辺副市長）

仁川広域市文化芸術課長一行が 横浜美術館を視察しました

2月24日、市内初の公立美術館の建設を検討している韓国・仁川広域市より、文化芸術課長一行が来浜し、横浜美術館を訪問しました。

横浜美術館の関係者からは、美術館建設の方式や運営手法、コンセプトの決め方や美術品の保有現況など多岐にわたる説明があり、仁川市側からは、美術館の設計にあたり考慮すべき点について、ハード面からソフト面にいたるまで詳細な質問が寄せられました。

また、意見交換と併せて、展示室・市民のアトリエ・情報センターなどの館内視察も行いました。

※横浜市は仁川広域市とパートナー都市提携を結んでいます。



（視察の様子）



【インド・ムンバイで開催された観光展 日本ブースの様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 22 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

インド最大級の観光展にムンバイ事務所長が参加しました

2月20日～23日にムンバイで行われた日本政府観光局（JNTO）主催の日本観光PRセミナー・商談会と観光展“Outbound Travel Mart（OTM）2017”にムンバイ事務所長が参加しました。

インド旅行者との商談会では、ムンバイ事務所のデスクに約30社が訪れ、いくつかの旅行代理店からは、顧客に横浜をPRできるよう、自社の従業員に対してプレゼンをして欲しいとの要請もありました。

観光展では、ジャパンパビリオンの一員として参加し、ブースに来た旅行代理店からは、日本観光全般に関する問合せ（費用、シーズン、富士山への行き方等）が主にありましたが、横浜観光についても積極的にPRしました。

これまで、インド人にとって観光地としての日本はあまり知られていませんでしたが、新しい旅行先として少しずつ注目されるようになっていきます。今後もこうした観光イベントを積極的に活用し横浜の魅力を発信していくことで、観光スポットとしての認知度を高めていきます。

フィリピン・イロイロ市コミュニティ防災推進事業5年間の成果を報告しました

2012年から取り組んできたJICA草の根技術協力事業が終了することから、3月3日に現地にて最終事業報告会を行いました。イロイロ市は、これまでの横浜市の防災分野での支援に対する感謝とともに、今後も防災力向上への取組を継続していく決意を示しました。

また、本事業の中で横浜からイロイロ市に寄贈した中古救急車両の操作方法について、本市消防職員2名がイロイロ市救急隊に対して研修を行いました。

このほか、道路局、経済局協力のもと、昨年12月に市内企業の（株）ユニメーションシステムの河川警報装置が現地に設置されました。この装置は川の水位が急上昇した際に音や光で近隣住民に周知し、避難を呼びかけるものです。



（救急車の操作方法についての研修）

デリー・ムンバイ産業大動脈開発会社が市内インフラ施設を視察しました

経済成長が目覚ましいインドの都市開発においても、横浜の持続可能なまちづくりが注目されています。

3月7日に、デリー・ムンバイ産業大動脈開発会社の一行が、本市の資源循環局金沢工場とみなとみらい21熱供給（株）第二プラントを視察しました。

金沢工場では、廃棄物処理行政についての説明に続き、当工場の建設に携わったJFEエンジニアリング（株）から焼却炉についての紹介がありました。また、みなとみらい21地区では、道路の地下空間を有効活用した共同溝についての解説と、みなとみらい21熱供給（株）からは地域冷暖房システムについて説明がありました。



（廃棄物処理についての説明の様子）



【バンクーバー新朝日軍との親善試合の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 29 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

市内小学生が科学探査船タラ号 の見学をしました

横浜港に寄港（3月14日～20日）していたフランスの科学調査船タラ号の船内を、市立永田台小学校（4、5、6年生）幸ヶ谷小学校5年生の児童が見学しました。

乗船した児童達に対して、クルーの方は実物のサンゴを見せながら、タラ号が取り組む環境保全調査などの説明を行い、子どもたちは興味深く聞き入っていました。

未来を生きる若い世代にとって、今、地球で起きている温暖化や環境汚染について考える貴重な経験となりました。

※『タラ号』は、環境汚染や、気候変動に直面するサンゴ礁の生物多様性を調査するフランスの科学探査船です。



（タラ号船員の説明を受ける小学生）

バンクーバー新朝日軍と市内少年野球チームが親善試合を行いました

バンクーバーの日系少年野球チーム「バンクーバー新朝日軍」が2年振りに横浜を再訪する機会を捉え、横浜バンクーバー友好委員会が中心となり、バンクーバー新朝日軍と市内の少年野球チームが親善交流を行いました。

バンクーバー新朝日軍は、バンクーバーでかつて活躍した日系人野球チーム「バンクーバー朝日軍」創立から100年となる2014年に結成された少年野球チームです。

24日の合同練習、交流会に続き、25日には横浜スタジアムで市内の横浜南ボーイズ、横浜泉リトルシニアと交流試合を行いました。試合は、見事、新朝日軍の2連勝となりましたが、全力で白球を追う3チームのフェアプレー精神あふれる姿に、大きな声援と喝さいが送られました。



（親善試合の様子）

世界銀行主催の都市開発に関する国際会議に出席しました

3月20～24日に渡って、ワシントンDCの世界銀行本部で”Land and Poverty Conference 2017”が開催され、世界銀行からの招聘を受けて本市都市整備局、国際局職員が出席しました。

今回で18回目を迎え、1,700人を超える参加者が集った同会議において、開発利益の還元をテーマにしたセッションに都市整備局職員が参加し、「港北ニュータウン」の開発実績について講演しました。

「港北ニュータウン開発」と「市営地下鉄整備」の開発実績を紹介し、公共交通と一体となった計画的なエリア開発をどのように進めたか、そして開発によって税収効果としてどのような還元がもたらされたか、についてパネルディスカッションを行いました。



（職員による講演の様子）



横浜市国際局

【Facebook】 www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/
【webサイト】 www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/

